

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101010300	事業の種類	
年度	27	事務事業名	土地利用規制等対策事業	予算事業名	土地利用規制等対策事業 優先度 3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	水原 至
取組み事項		計画的な都市空間を形成する		担当者名	後藤 卓
実施計画事業名				実施計画への記載	主要事業の指定
根拠法規及び関連法規		国土利用計画法・公有地の拡大の推進に関する法律等			
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民			
	誰(何)を対象として	土地取得者・土地を有償で譲り渡そうとする当該土地所有者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	総合的で計画的な国土利用を図る。また、必要な土地の先買いを行い、公有地の拡大の計画的な推進を図り、もって地域の秩序ある整備と公共の福祉の増進を図る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		一定面積以上の土地取引において、買主から出された「土地売買等届出」を受理し、県に進達する。				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	国土法届出件数	件	1	8	3	0
	公拡法届出件数	件	0	0	0	0
	用地取得面積	m ²	0	0	0	0

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.292	0.080	27	0.080	100	0.080	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,561,934	978,373	38	943,814	96	945,086	100	
	事業費	2,000	2,000	100	0	0	5,000	-	
	合計	2,563,934	980,373	38	943,814	96	950,086	101	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	8,000	12,000	150	15,000	125	5,000	33	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,555,934	968,373	38	928,814	96	945,086	102	
合計	2,563,934	980,373	38	943,814	96	950,086	101		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		届出件数の増減							
指標説明(式)		国土法届出件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	1	8	800.0	3	37.5			
指標名2		届出件数の増減							
指標説明(式)		公拡法届出件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠) 法令から見た 効果	法令上の届出基準を遵守し、届出等の受理を行った。	4
効率性	執行体制の 効率性	速やかに届出等を受理し、県に送付を行った。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	公拡法による届出、申出事務が平成24年度より市に権限移譲されたが、届出件数はほとんどない状況である。	4

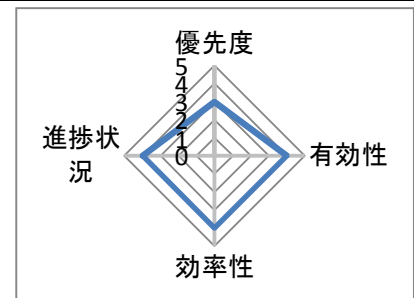
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の 効率性	届け出内容について県との連絡調整が重要

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の 効率性	県との連絡調整を強化する



配点	32.5
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101010400	事業の種類	3
年度	27	事務事業名	都市計画基礎調査事業	予算事業名	都市計画基礎調査事業 優先度 3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	斎藤 誠
取組み事項		計画的な都市空間を形成する		担当者名	片山 和彦
実施計画事業名		相生市都市計画マスタープラン見直し事業		実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規		都市計画法第6条(県からの協力要請)			
事業の目的	誰のために(具体的に)	都市計画に必要な事項に関する基礎資料として都市の状況を把握するため調査をする。			
	誰(何)を対象として	都市計画区域の人々			
	意図(どのような状態にしたいのか)	都市の現状、都市化の動向等を正確に把握し都市計画の決定、変更を行うための基準となる。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		兵庫県都市計画基礎調査要綱に基づき、人口規模、就業人口の規模、市街地の面積、世帯数及び住宅戸数、住宅の規模、建築物の用途、構造、建築面積及び延べ面積等について項目を5年に分けてに調査し、6年目には当初の項目に戻って調査を繰り返している。				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	都市計画基礎調査	件	1	1	1	1

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.844	0.844	100	0.684	81	0.660	96	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	6,805,158	6,897,845	101	5,462,942	79	5,502,726	101	
	事業費	55,106	55,245	100	51,969	94	108,000	208	
	合計	6,860,264	6,953,090	101	5,514,911	79	5,610,726	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	337,000	337,000	100		0		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	6,523,264	6,616,090	101	5,514,911	83	5,610,726	102	
合計	6,860,264	6,953,090	101	5,514,911	79	5,610,726	102		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		県からの委託状況							
指標説明(式)		委託料							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	337000	337000	100.0	270000	80.1	270000	100.0	
	実績	337000	337000	100.0	270000	80.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

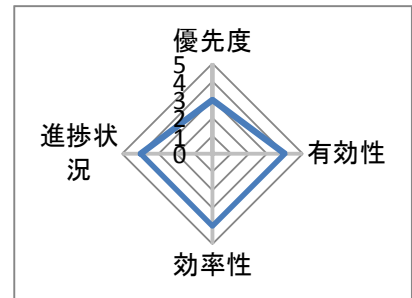
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令等から見た効果	法令で義務付けられている事務事業。	4
	上位施策への貢献度	この調査は、県が主体となるが、しいては本市の将来の都市計画を見直す際の基礎資料となるため十分有効活用が図られている。	
効率性	コストの節減	図面等については、近年徐々に改善され、県のシステムにてWeb入力し、メディアによる提出が不要となり、コスト縮減に努められている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	負担割合の適正化	この調査は、県の調査委託に基づき実施しているが、事業量から評価すれば市の負担は大きいと思うが、市においてもこの資料を使い都市計画の決定の時に参考としている。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	事務費(旅費・需用費)の縮減

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		050101010500		事業の種類		1	
年度	27	事務事業名	屋外広告物取扱事業	予算事業名	屋外広告物取扱事業	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課		
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	齊藤 誠	担当者名	船曳 直志
取組み事項		計画的な都市空間を形成する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		屋外広告物法、兵庫県屋外広告物条例、兵庫県屋外広告物条例施行規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	屋外広告物掲出者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	屋外広告物の掲出に必要な規制を行い、街の美観・風致を維持しつつ安全性を高め、市民の安全かつ快適な生活の維持を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		週1回(月4回)違法屋外広告物簡易除却事業を実施					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	除却件数	件	16	9	7	10	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.640	0.640	100	0.640	100	0.640	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	5,237,010	5,317,253	102	5,133,734	97	5,345,566	104	
	事業費	549,790	565,852	103	558,375	99	567,000	102	
	合計	5,786,800	5,883,105	102	5,692,109	97	5,912,566	104	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	5,786,800	5,883,105	102	5,692,109	97	5,912,566	104	
合計	5,786,800	5,883,105	102	5,692,109	97	5,912,566	104		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		除却件数の増減							
指標説明(式)		除却件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件	目標	40	15	37.5	10	66.7	10	100.0	
	実績	16	9	56.3	7	77.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		仕事作業能率の増減（数値が高いほど作業能率は高い）							
指標説明(式)		除却件数／(1,938時間×参事以下職員の人員資源)							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件	目標	0.05	0.01	20.0	0.01	100.0	0.01	100.0	
	実績	0.01	0.007	70.0	0.004	57.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	除却件数は毎年異なるので単純に数値で比較できないが、違法広告物の除却を迅速に行うことで、市民生活の安全性と快適性が図られる。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	屋外広告物は、営業の自由と市民生活の景観や安全との関係上、公共の福祉の制約を受けるものであるから、両者の対立利益を調整する上で必要な施策である。	
効率性	コストの節減	除却件数は減少傾向にある。	4
	執行体制の効率性	他に類似する事務事業が無く、重なり合う事務事業が無いので、執行体制を変えてもコスト削減効果は期待できない。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり進捗している。	4

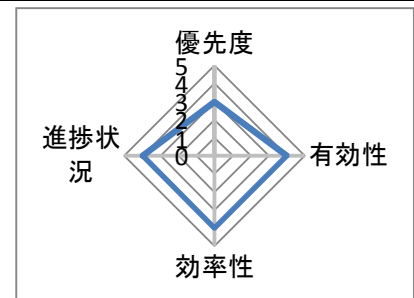
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	県の委任事務につき現状維持

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	県の委任事務につき現状維持



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101010600		事業の種類	6		
年度	27	事務事業名	東部土地区画整理事業		予算事業名	東部土地区画整理事業	優先度	2
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課			
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	斎藤 誠	担当者名	片山 和彦	
取組み事項		計画的な都市空間を形成する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		土地区画整理法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	事業地内の土地所有者						
	誰(何)を対象として	事業地内の土地所有者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	組合施行による土地区画整理事業の事業化の検討の指導等を準備委員会(土地所有者代表)に行う。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		組合施行による土地区画整理事業の事業化の検討の指導等を準備委員会(土地所有者代表)に行う。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	準備委員会等	回	0	0	0	0	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.012	0.012	100	0.008	67	0.008	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	409,574	451,509	110	405,110	90	379,310	94	
	事業費	0	5,280	-	5,280	100	22,000	417	
	合計	409,574	456,789	112	410,390	90	401,310	98	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	409,574	456,789	112	410,390	90	401,310	98	
合計	409,574	456,789	112	410,390	90	401,310	98		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		準備委員会開催							
指標説明(式)		準備委員会開催回数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
回	目標	2	2	100.0	2	100.0	0	0.0	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

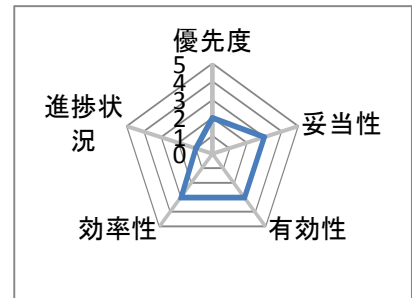
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	事業化の検討に当たっては、保留地処分が問題であり、地権者の事業化への「リスク」の理解を得ることが重要である。	3
効率性	手段の最適性	事業化への「リスク」の理解を得るため、地区ごとの会議の開催等の検討等が必要である。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	平成27年度 事業の廃止が決定された。	1

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	事業化の検討に当たっては、保留地処分が問題であり、地権者の事業化への「リスク」の理解を得ることが重要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	事業化の検討に当たっては、保留地処分が問題であり、地権者の事業化への「リスク」の理解を得ることが重要である。

配点	32.5
総合評価	15.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101010700		事業の種類	1	
年度	27	事務事業名	特別指定区域事業		予算事業名		
まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課			
施策名(中)	秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	斎藤 誠	担当者名	片山 和彦	
取組み事項	計画的な都市空間を形成する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		都市計画法第34条12号・兵庫県都市計画法施行条例8条					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市街化調整区域の規制緩和のため「地縁者の住宅区域」を指定し集落周辺に10年以上居住したことのあつた地縁者であれば住宅建設が可能。					
	誰(何)を対象として	市土地利用基本計画に基づいて特別指定区域を定めた地区。					
	意図(どのような状態にしたいのか)	平成18年5月に既存宅地制度が廃止されたことから、この代替施策を兼ねこの度の導入として市土地利用基本計画を策定し地縁者の住宅建設に対応した規制緩和を行う。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		土地利用計画の策定・特別指定区域の指定(地縁者の住宅区域)					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	土地利用計画策定	件	0	0	0	0	
	特別指定区域の作成	件	0	0	0		

3 投入資源

		会計区分							事業費単位:円
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.044	0.044	100	0.024	55	0.024	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	655,558	699,445	107	524,822	75	505,038	96	
	事業費			-		-		-	
	合計	655,558	699,445	107	524,822	75	505,038	96	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	655,558	699,445	107	524,822	75	505,038	96	
	合計	655,558	699,445	107	524,822	75	505,038	96	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		地元説明会開催回数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
回	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

【効率性】

指標名1		1ha当たりのコスト							
指標説明(式)		当該年度事業費合計÷市街化調整区域の面積							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	0	0	-	0	-		-	
	実績	0	0	-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠) 法令等から見た効果	法令及び条例等義務付けられている事務事業。	4
効率性	手段の最適性	基礎調査のデータ等の活用により特別指定区域の素案作成を効率的に行うことができる。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

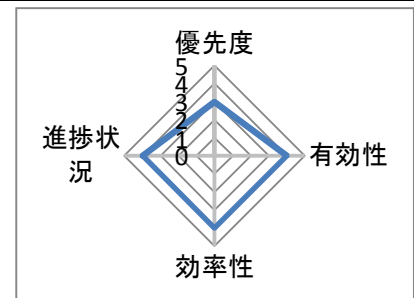
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	関係(根拠) 法令から見た効果	今後、特定区域の検討を行う。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	関係(根拠) 法令から見た効果	今後、特定区域の検討を行う。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101010800		事業の種類	4		
年度	27	事務事業名	地区計画決定事業		予算事業名			
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課			
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	斎藤 誠		担当者名	國重・古川
取組み事項		計画的な都市空間を形成する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		都市計画法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	計画決定予定地区の権利者						
	誰(何)を対象として	区域内の道路、公園等の施設整備、建築物等に関する事項						
	意図(どのような状態にしたいのか)	道路、公園等の施設整備、建築物の建築等に関し必要な事項を一体的かつ総合的に定め良好な住環境の整備を行う。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		一体的な整備及び保全を図る区域について、主として街区内の居住者等の利用に供される道路、公園等の施設整備、建築物の建築等に関し必要な事項を一体的かつ総合的に定める。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	決定地区件数	件	0	0	0		

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.130	0.130	100	0.180	138	0.120	67	
	臨時職員			-		-	0.060	-	
支出内訳	人件費	1,316,640	1,365,773	104	1,692,014	124	1,421,766	84	
	事業費			-		-		-	
	合計	1,316,640	1,365,773	104	1,692,014	124	1,421,766	84	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,316,640	1,365,773	104	1,692,014	124	1,421,766	84	
	合計	1,316,640	1,365,773	104	1,692,014	124	1,421,766	84	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		地区計画決定件数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件	目標			-		-		-	
	実績	0	0	-	0	-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		地区計画内容権利者協議時間							
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
時間	目標			-		-		-	
	実績	0	0	-	0	-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠) 法令等から見た効果	新市街地において地区計画決定を検討	3
効率性	執行体制の 効率性	決定内容の権利者の意向の掌握、合意形成が困難	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	4

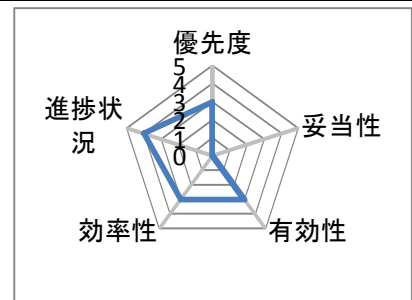
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	関係(根拠) 法令から見た効果	計画決定候補地が少ない。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容



配点	32.5
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101010900		事業の種類	1	
年度	27	事務事業名	地籍調査事業		予算事業名	地籍調査事業	
まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部農林水産課			
施策名(中)	秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	竹本 頼高		担当者名	長治 宏幸
取組み事項	計画的な都市空間を形成する		実施計画への記載	有		主要事業の指定	無
実施計画事業名	地籍調査事業(システム含む)						
根拠法規及び関連法規	国土調査法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民 (土地の明確化により、公共事業及び土地取引等が円滑にできるようになり、個人資産の保全につながる)					
	誰(何)を対象として	土地所有者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	一筆毎の土地の、所有者・地番・地目・境界を確認し、面積を測量し、正確な地籍図・地籍簿を作る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要	一筆毎の土地の、所有者・地番・地目・境界を確認し、面積を測量し、正確な地籍図・地籍簿を作る。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	地籍調査地区数	地区	3	3	3	3

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	1.980	2.116	107	1.901	90	1.692	89	
	臨時職員	1.000	1.000	100	0.920	92	0.920	100	
支出内訳	人件費	17,978,590	19,183,301	107	16,886,016	88	16,101,702	95	
	事業費	11,982,650	16,749,207	140	14,673,825	88	16,080,000	110	
	合計	29,961,240	35,932,508	120	31,559,841	88	32,181,702	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	8,850,000	12,549,000	142	10,962,000	87	11,325,000	103	
	市債			-		-		-	
	その他	980	1,240	127	600	48	2,000	333	
	一般財源	21,110,260	23,382,268	111	20,597,241	88	20,854,702	101	
合計	29,961,240	35,932,508	120	31,559,841	88	32,181,702	102		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		事業費							
指標説明(式)		事業費							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	13805000	15572000	112.8	15275000	98.1	16080000	105.3	
	実績	11982650	16904420	141.1	14818764	87.7			
指標名2		進捗率							
指標説明(式)		地籍調査対象面積(優先的に地籍の明確化を図る地域)に対する進捗率							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	9	10.5	116.7	11.7	111.4	13.5	115.4	
	実績	9.1	10.5	115.4	12.2	116.2			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	事業目標は、達成している。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	関係法令等の意図と合致している。	
効率性	コストの節減	入札による削減が図られている。	4
	執行体制の効率性	事業委託により役割分担を行うことで、効率的に行われている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進んでいる。	4

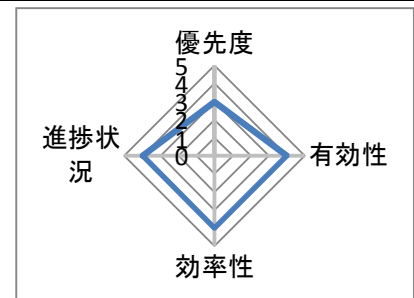
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	人員不足や経験者不足により、事業運営に支障をきたす恐れがある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	限られた予算の中で、更なる事業の進捗に努める。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101011000	事業の種類	1
年度	27	事務事業名	都市計画議事運営事業	予算事業名	都市計画総務費事務経費 優先度 3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	斎藤 誠
取組み事項		計画的な都市空間を形成する		担当者名	片山 和彦
実施計画事業名				実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規		都市計画法77条の2第1項・相生市都市計画審議会条例			
事業の目的	誰のために(具体的に)	都市計画区域の人々			
	誰(何)を対象として	市の都市計画について			
	意図(どのような状態にしたいのか)	審議会を開催し、事案を諮問し答申を得る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		都市計画法によりその権限に属された事項を調査審議させ、及び市長の諮問に応じ都市計画に関する事項を調査審議する。				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	都市計画審議会開催	回	0	1	1	1

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.164	0.164	100	0.064	39	0.788	1,231	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,577,998	1,629,205	103	824,102	51	6,508,550	790	
	事業費	169,180	254,641	151	5,004,365	1,965	9,417,000	188	
	合計	1,747,178	1,883,846	108	5,828,467	309	15,925,550	273	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,747,178	1,883,846	108	5,828,467	309	15,925,550	273	
合計	1,747,178	1,883,846	108	5,828,467	309	15,925,550	273		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		都市計画審議会開催回数							
指標説明(式)		実施開催回数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
回	目標	3	3	100.0	3	100.0	3	100.0	
	実績	0	1	-	1	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		都市計画審議会1回当たりのコスト							
指標説明(式)		事業費÷開催回数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	122000	122000	100.0	122000	100.0		0.0	
	実績	0	55220	-		0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令等から見た効果	法令及び条例等で義務づけられている事務事業。	5
	成果目標(改善)達成度	都市計画決定により計画的なまちづくりの推進が出来た。	
効率性	執行体制の効率性	平成20年第1回定例市議会において審議会委員の定数を14人から10人に削減し効率的に運営を図った。	5
	コストの節減	審議会委員の県外視察の廃止。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

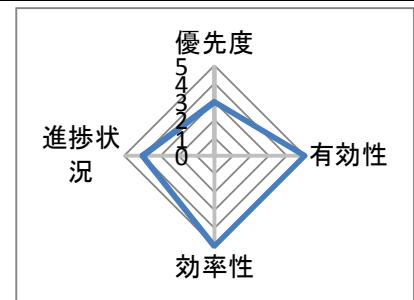
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	審議会の非公開から公開への移行。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	審議会議事運営要綱の施行(H18.7.28)に伴い審議会は、原則として公開する。



配点	25
総合評価	20

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101011100		事業の種類	3		
年度	27	事務事業名	土地区画整理事務事業		予算事業名	土地区画整理事務経費	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち			担当部局名	建設農林部都市整備課		
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する			担当課長	斎藤 誠	担当者名	片山 和彦
取組み事項		計画的な都市空間を形成する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	事業実施者として、事業執行のための知識及び情報収集を行うことにより、事業の公平性、妥当性を図る。						
	誰(何)を対象として	事業実施者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	制度改正等に対応した適正な事業を執行するため。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		区画整理事業及び住環境整備事業遂行のための上部団体との情報交換					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	研修会等旅費	千円	3	3	3		
	協議会等負担金	千円	32	29	29		

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員			-		-		-	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	317,330	358,533	113	345,254	96	316,446	92	
	事業費	34,560	31,640	92	31,640	100	83,000	262	
	合計	351,890	390,173	111	376,894	97	399,446	106	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	351,890	390,173	111	376,894	97	399,446	106	
合計	351,890	390,173	111	376,894	97	399,446	106		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	協議会等の負担金は、継続的であり前年度とほぼ同額である。	3
効率性	コストの節減	研修会への参加を最小人数で行った。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

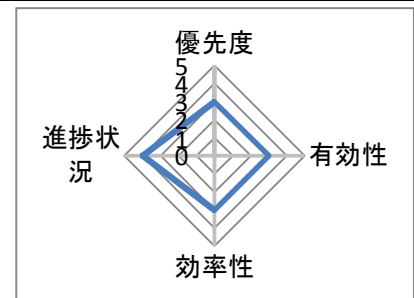
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	加入団体によっては、継続加入に必要性があるのかを再調査すべきである。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	目的の妥当性	継続して加入、参加すべきであった。



配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101011200		事業の種類	4		
年度	27	事務事業名	国土利用計画策定事業		予算事業名	国土利用計画策定事業	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	企画総務部企画広報課			
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	松尾 次郎	担当者名	横川 昌紀	
取組み事項		計画的な都市空間を形成する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	有	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		国土利用計画法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	相生市全体の土地						
	意図(どのような状態にしたいのか)	長期にわたって安定的かつ均衡のある土地利用の実現						

2 事業の概要 Do

実施の概要		安定かつ均衡ある相生市の土地利用の実現のため、平成6年に策定した前計画から、社会・経済情勢の変化に即した計画へと改訂する。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	計画調整部会の開催				4	6	
	計画検討委員会の開催				1	4	
	計画検討会議の開催					6	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.000	-	0.026	-	0.026	100	
	参事以下職員			-	0.184	-	0.440	239	
	臨時職員			-		-	0.004	-	
支出内訳	人件費			-	1,721,942	-	3,784,790	220	
	事業費			-	2,268,000	-	3,410,000	150	
	合計			-	3,989,942	-	7,194,790	180	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源			-	3,989,942	-	7,194,790	180	
合計			-	3,989,942	-	7,194,790	180		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		国土利用計画の策定							
指標説明(式)		平成28年度中に国土利用計画を策定予定である。							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
会議開催回数	目標			-	5	-	16	320.0	
	実績			-	5	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

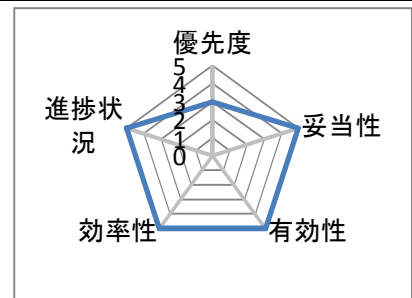
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	住民の意思確認のためのアンケートを実施した。	5
	組織運営・適正管理	策定における幅広い意見を反映できるような体制を整え、計画策定に向けた会議を開催した。	
効率性	手段の最適性	策定における幅広い意見を反映できるような体制を整え、計画策定に向けた会議を開催した。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	平成28年度中の策定に向け、会議を開催中である。	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	各会議の開催にあたって、委員の日程確保が困難な場合の対応



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	各会議を開催するにあたって、事前に委員の日程調整をおこなう

配点	32.5
総合評価	28.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101020100		事業の種類	6	
年度	27	事務事業名	相生駅南土地区画整理事業		予算事業名	相生駅南土地区画整理事業 優先度 3	
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課		
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	斎藤 誠	担当者名	片山 和彦
取組み事項		都市核を形成する		実施計画への記載	有	主要事業の指定	有
実施計画事業名		相生駅南土地区画整理事業					
根拠法規及び関連法規		土地区画整理法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	事業地内の土地所有者					
	誰(何)を対象として	事業地内の土地所有者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	土地区画整理事業の事業変更及び幹線道路等の都市基盤施設の整備改善を行い、良好な市街地を形成し、宅地の利用促進を図り、魅力あるまちづくりを行う。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		土地区画整理事業の事業変更及び幹線道路等の都市基盤施設の整備改善を行い、良好な市街地を形成し、宅地の利用促進を図り、魅力あるまちづくりを行う。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	道路整備	m	0	0	19	0	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	1.032	1.032	100	0.652	63	0.048	7	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	8,250,314	8,354,469	101	5,223,518	63	693,630	13	
	事業費	56,283,770	154,687,829	275	123,779,424	80	2,157,000	2	
	合計	64,534,084	163,042,298	253	129,002,942	79	2,850,630	2	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	64,534,084	163,042,298	253	129,002,942	79	2,850,630	2	
合計	64,534,084	163,042,298	253	129,002,942	79	2,850,630	2		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		道路整備延長							
指標説明(式)		道路整備延長							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
m	目標	19	0	0.0	19	-	0	0.0	
	実績	0	0	-	19	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

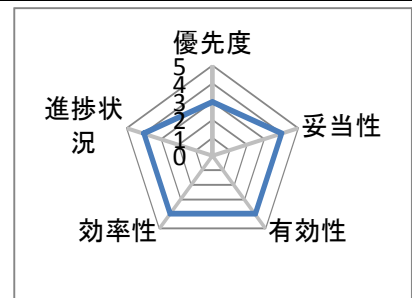
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	換地処分が完了し、精算事務も残りわずかとなった。	4
効率性	執行体制の効率性	平成19年度より課内の係員の減があったが、今年度も同じく執行体制の効率性を図った。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	普光沢大橋の架け替え工事も完了し、基盤整備は完了した。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	基盤整備は完了した。H28年度は付帯事務を実施する。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101020200	事業の種類	
年度	27	事務事業名	相生駅南地区街づくり助成事業	予算事業名	相生駅南地区街づくり助成事業
まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課	
施策名(中)	秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	斎藤 誠	担当者名
取組み事項	都市核を形成する		実施計画への記載		主要事業の指定
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	事業地内の商業地区における土地及び建物の所有者			
	誰(何)を対象として	事業地内の商業地区において、要件を満たした建物を建築した場合に、その建築物及び敷地。			
	意図(どのような状態にしたいのか)	事業地内の商業地区において、土地の有効利用を促進することにより、駅前の高度利用を図る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要	相生駅南地区画整理事業区域内の商業地域内で、土地使用収益開始の日から5年以内に、「相生駅南地区建築行為等の遵守基準」に適合し、かつ地上4階建以上で1階から4階までの各階床面積が200㎡を超える建築物の所有者及び土地所有者に、対象建築物とその敷地と					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	助成金額	千円	9396	9375	9931	4000
	助成件数	件	2	2	2	1

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.016	0.016	100	0.012	75	0.024	200	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	440,322	482,501	110	435,038	90	505,038	116	
	事業費	9,396,000	9,375,000	100	9,931,000	106	9,931,000	100	
	合計	9,836,322	9,857,501	100	10,366,038	105	10,436,038	101	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	9,836,322	9,857,501	100	10,366,038	105	10,436,038	101	
合計	9,836,322	9,857,501	100	10,366,038	105	10,436,038	101		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	助成土地利用率								
指標説明(式)	(助成決定面積による)助成対象土地面積/駅南商業地全体面積(31,000㎡) × 100 H21 = (650+747+905+637) / 31,000 × 100 = 9.5								
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	9.5	9.5	100.0	9.5	100.0	9.5	100.0	
	実績	9.5	9.5	100.0	9.5	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	上位施策への貢献度	駅前地区の高度利用が図られつつある。	3
効率性	執行体制の効率性	助成対象となる土地の評価額等の動向を読み、今後の事業費の予測を的確に把握している。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

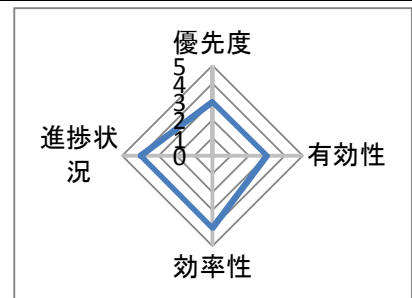
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	上位施策への貢献度	大規模な建築物が建設されることにより高度化が図られた

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	助成期限が終了し、助成対象となる土地が減少したが事業を継続していく。



配点	32.5
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		050101030100		事業の種類		6	
年度	27	事務事業名	那波丘の台土地区画整理事業	予算事業名	那波丘の台土地区画整理事業	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名 建設農林部都市整備課			
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	斎藤 誠	担当者名	片山 和彦
取組み事項		住環境の整備と保全を行う		実施計画への記載	有	主要事業の指定	有
実施計画事業名		那波丘の台地区市街地整備事業					
根拠法規及び関連法規		土地区画整理法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	事業地内の土地所有者					
	誰(何)を対象として	事業地内の土地所有者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	土地区画整理事業の事業変更及び幹線道路等の都市基盤施設の整備改善を行い、良好な市街地を形成し、宅地の利用増進を図り、魅力あるまちづくりを行う。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		土地区画整理事業の事業変更及び幹線道路等の都市基盤施設の整備改善を行い、良好な市街地を形成し、宅地の利用増進を図る。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	道路整備	m	27	0	0	0	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.968	0.968	100	0.636	66	0.608	96	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	7,758,346	7,858,597	101	5,103,806	65	5,094,110	100	
	事業費	55,722,270	30,595,704	55	12,454,290	41	5,584,000	45	
	合計	63,480,616	38,454,301	61	17,558,096	46	10,678,110	61	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	63,480,616	38,454,301	61	17,558,096	46	10,678,110	61	
合計	63,480,616	38,454,301	61	17,558,096	46	10,678,110	61		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		道路整備延長							
指標説明(式)		道路整備延長							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
m	目標	27	0	0.0	0	-	0	-	
	実績	27	0	0.0	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

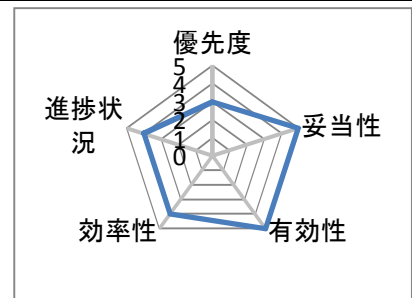
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	道路整備及び公園整備において、予定どおり年度内にすべて完了した。	5
効率性	執行体制の効率性	平成19年度より課内の職員数が減となり、今年度においても個々の事務量が増加したが、効率性を高めつつ当該年度の事業を進めた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	コストの縮減を図る。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	効率性を追求しつつ、本年度の事業目標を達成する。

配点	32.5
総合評価	26.5

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号	050101030200	事業の種類	3
年度	27	事務事業名	經由進達事業
予算事業名	經由進達事業	優先度	3
まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち	担当部局名	建設農林部都市整備課
施策名(中)	秩序あるまちづくりを推進する	担当課長	斎藤 誠
取組み事項	住環境の整備と保全を行う	担当者名	古川・萩原
		実施計画への記載	無
		主要事業の指定	無
実施計画事業名			
根拠法規及び関連法規	租税特別措置法、県：景観の形成等に関する条例		
事業の目的	誰のために(具体的に)	県	
	誰(何)を対象として	建築確認申請・道路位置指定申請・優良住宅認定申請・耐震改修補助申請・大規模建築物等の届出・建基法上の許認可申請・都計法上の許認可申請	
	意図(どのような状態にしたいのか)	県への經由進達	

2 事業の概要 Do

実施の概要	建築基準法、租税特別措置法、景観の形成等に関する条例(県条例)に基づき市の意見書、進達書等を付して進達する。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	確認申請受付件数	件	9	11	4	
	調査依頼件数	件	139	113	165	
	大規模建築物届出件数	件	4	0	1	
	建基法・都計法許認可申請	件	15	20	22	

3 投入資源

会計区分		事業費単位：円							
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.380	0.380	100	0.120	32	0.120	100	
	臨時職員			-		-	0.040	-	
支出内訳	人件費	3,238,390	3,302,773	102	1,243,094	38	1,367,646	110	
	事業費			-		-		-	
	合計	3,238,390	3,302,773	102	1,243,094	38	1,367,646	110	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,238,390	3,302,773	102	1,243,094	38	1,367,646	110	
	合計	3,238,390	3,302,773	102	1,243,094	38	1,367,646	110	

※ 事業の進捗状況

事業費単位：円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	確認申請1件あたり調査書作成手数料								
指標説明(式)	(指定確認検査機関よりの納入額 + 移譲事務市町交付金) ÷ 調査件数								
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-		-		-	
	実績	3118	3119	100.0	3283	105.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		確認申請1件あたり受付処理時間(事前相談含む。)							
指標説明(式)		従事時間数(56時間) ÷ 1年間の受付件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
時間	目標			-		-		-	
	実績	5	5	100.0	5	100.0			
指標名2		調査依頼1件あたり受付処理時間							
指標説明(式)		従事時間数(691時間) ÷ 1年間の受付件数(事前相談件数含む)							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
時間	目標			-		-		-	
	実績	5	6	120.0	4	66.7			

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠) 法令等から見た効果	建築確認申請の審査が特定行政庁から民間の指定機関へ移行している。	3
効率性	コストの節減	どのようにして事務処理時間の短縮を図れるか。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	4

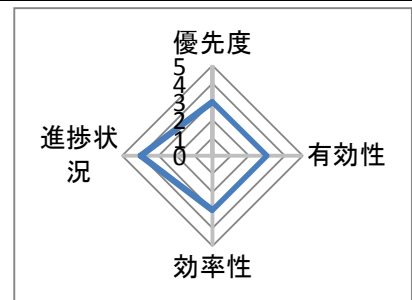
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	法的に市の経由進達についての根拠がなく窓口市ということで経由しており、関与の必要性が薄い経由事務がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	1件あたりの事務処理時間の短縮に努める。



配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101030300		事業の種類	1		
年度	27	事務事業名	開発行為関連事業		予算事業名			
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課			
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	齋藤 誠		担当者名	國重・古川
取組み事項		住環境の整備と保全を行う		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		都市計画法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	開発計画等のある者又はその代理人						
	誰(何)を対象として	都市計画法32条に基づく同意・協議申請及び29条に基づく開発許可申請						
	意図(どのような状態にしたいのか)	32条に基づく協議及び同意、29条に基づく申請の経由進達						

2 事業の概要 Do

実施の概要		開発行為により設置される公共施設の管理者協議のとりまとめ、開発の技術基準に基づく指導。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	32条協議申請	件	9	11	13		
	29条申請	件	10	9	15		

3 投入資源

会計区分		事業費単位:円							
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.280	0.280	100	0.580	207	0.500	86	
	臨時職員			-		-	0.180	-	
支出内訳	人件費	2,469,690	2,527,973	102	4,684,814	185	4,732,526	101	
	事業費			-		-		-	
	合計	2,469,690	2,527,973	102	4,684,814	185	4,732,526	101	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,469,690	2,527,973	102	4,684,814	185	4,732,526	101	
	合計	2,469,690	2,527,973	102	4,684,814	185	4,732,526	101	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		有効性を測る指標はない							
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

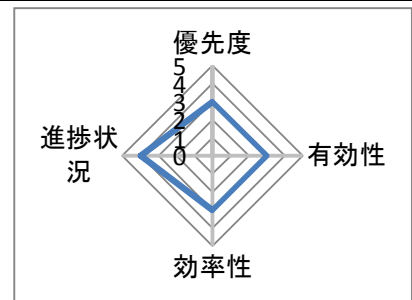
指標名1		32条協議 1件あたり処理期間(事前協議含む。)							
指標説明(式)		従事時間数(543時間) ÷ 1年間の協議件数(事前相談件数含む)							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
時間	目標			-		-		-	
	実績	60	49	81.7	42	85.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令等から見た効果	帰属される公共施設の管理者協議のとりまとめをする。	3
効率性	執行体制の効率性	関係各課を対象とする連絡調整会議又は個別各課協議。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	関係各課との協議方法



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	関係各課及び申請代理人を交えて調整会議を開催し、情報共有や課題の把握を行う。

配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101030400		事業の種類	1		
年度	27	事務事業名	優良住宅・宅地認定事業		予算事業名			
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課			
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	斎藤 誠		担当者名	國重・萩原
取組み事項		住環境の整備と保全を行う		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		租税特別措置法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	優良住宅・宅地						
	意図(どのような状態にしたいのか)	優良住宅・優良宅地の認定基準に適合するものを認定し、税制上の優遇措置を受けてもらう。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		租税特別措置法の認定基準に合う住宅・宅地の認定をする。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	認定件数	件	0	0	0		

3 投入資源

会計区分		事業費単位:円							
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.056	0.056	100	0.052	93	0.028	54	
	臨時職員			-		-	0.012	-	
支出内訳	人件費	747,802	792,421	106	734,318	93	568,942	77	
	事業費			-		-		-	
	合計	747,802	792,421	106	734,318	93	568,942	77	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	747,802	792,421	106	734,318	93	568,942	77	
合計	747,802	792,421	106	734,318	93	568,942	77		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		有効性を測る指標はない							
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		申請書1件あたり受付審査時間							
指標説明(式)		従事時間数 ÷ 1年間の申請件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
時間	目標	0	0	-	0	-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令等から見た効果	税の特例を受けるための制度であるが、制度利用者等は少ない。	3
効率性	コストの節減	どのようにして事務処理時間の短縮を図れるか。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	4

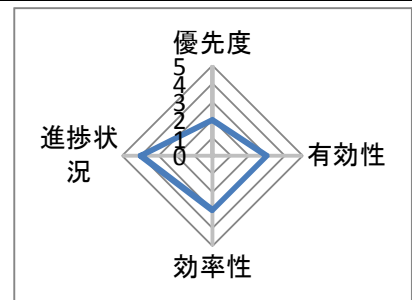
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	制度の必要性が薄れてきている。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容



配点	25
総合評価	14

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101030500		事業の種類	1	
年度	27	事務事業名	地区計画適合審査事業		予算事業名		
まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課			
施策名(中)	秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	斎藤 誠	担当者名	古川・萩原	
取組み事項	住環境の整備と保全を行う		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		都市計画法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	地区計画決定区域内で建築行為等を行おうとする者又はその代理人					
	誰(何)を対象として	地区計画区域内の建築行為等					
	意図(どのような状態にしたいのか)	建築行為等が地区計画の決定内容に適合するよう指導することにより区域内の良好な環境の保全、整備を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		地区計画決定区域内における建築行為等の届出書の受付及び決定事項に適合しているかどうかの審査をする。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	受付認定件数	件	6	5	6		

3 投入資源

会計区分		事業費単位:円							
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.114	0.114	100	0.206	181	0.156	76	
	臨時職員			-		-	0.080	-	
支出内訳	人件費	1,193,648	1,241,805	104	1,886,546	152	1,758,774	93	
	事業費			-		-		-	
	合計	1,193,648	1,241,805	104	1,886,546	152	1,758,774	93	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,193,648	1,241,805	104	1,886,546	152	1,758,774	93	
合計	1,193,648	1,241,805	104	1,886,546	152	1,758,774	93		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		有効性を測る指標はない							
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		届出書1件あたり受付審査時間							
指標説明(式)		従事時間数(221時間) ÷ 1年間の届出件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
時間	目標			-		-		-	
	実績	37	44	118.9	37	84.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠) 法令等から見た効果	決定区域内の良好な環境の保全、整備状況	3
効率性	コストの節減	審査用のチェック表の作成等審査時間の短縮を図っている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	4

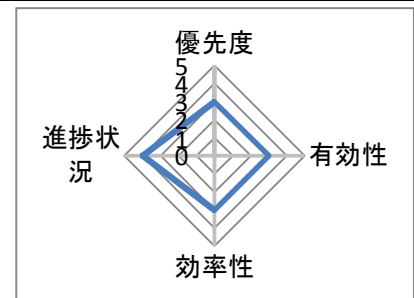
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	土地利用が進むにつれ、届出件数は減少していく。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	届出後の変更等により、適合していないものがないか、現地確認が必要。



配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		050101030600		事業の種類		1	
年度	27	事務事業名	道路判定台帳整備事業	予算事業名		優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課		
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	斎藤 誠	担当者名	古川・萩原
取組み事項		住環境の整備と保全を行う		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		建築基準法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	建築計画のある市民及びその代理人					
	誰(何)を対象として	建築基準法上の道路に関する情報図					
	意図(どのような状態にしたいのか)	計画敷地が建築基準法上の道路に接道しているかどうか判断できる。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		建物等建築計画のある市民に建築基準法上の道路の取り扱いについて情報を提供する。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	書込路線件数	件	9	4	7		
	閲覧件数	件	256	257	237		

3 投入資源

会計区分		事業費単位:円							
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.156	0.156	100	0.226	145	0.132	58	
	臨時職員			-		-	0.068	-	
支出内訳	人件費	1,516,502	1,567,221	103	2,036,186	130	1,537,710	76	
	事業費			-		-		-	
	合計	1,516,502	1,567,221	103	2,036,186	130	1,537,710	76	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,516,502	1,567,221	103	2,036,186	130	1,537,710	76	
	合計	1,516,502	1,567,221	103	2,036,186	130	1,537,710	76	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		道路判定閲覧件数							
指標説明(式)		道路判定結果を閲覧した件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件	目標			-		-		-	
	実績	256	257	100.4	237	92.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	道路判定結果を市民の閲覧に供する。	3
効率性	執行体制の効率性	県民局の道路判定結果を地形図に書き込みしている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	4

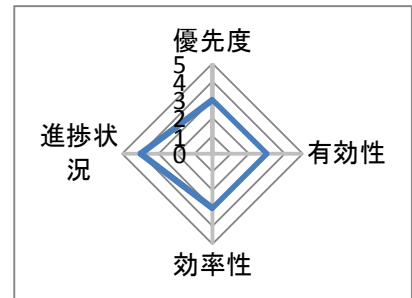
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	建築基準法上の道路であるかの判定結果を閲覧に供しているが、未判定の道路が多くある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	県が道路判定する際に必要な資料、情報を前もって準備、提供する。



配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101030700		事業の種類	1	
年度	27	事務事業名	市有建物営繕事業		予算事業名		
まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課			
施策名(中)	秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	斎藤 誠	担当者名	國重・古川・萩原	
取組み事項	住環境の整備と保全を行う		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	関係課					
	誰(何)を対象として	市有建物					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市有建物の営繕工事において担当課にかわり建築技術職員が委託業務内容、工事内容を把握し設計書を作成する。又、契約図書等に基づき請負者に対し契約の履行を指導する。市有					

2 事業の概要 Do

実施の概要		施設管理者に代わり業務委託・工事発注に必要な設計書を作成する。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	委託件数	件	3	3	2		
	営繕工事件数	件	4	7	12		

3 投入資源

		会計区分	事業費単位:円						
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.860	0.860	100	1.360	158	0.740	54	
	臨時職員			-		-	0.340	-	
支出内訳	人件費	6,928,150	7,021,813	101	10,520,774	150	7,051,406	67	
	事業費			-		-		-	
	合計	6,928,150	7,021,813	101	10,520,774	150	7,051,406	67	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	6,928,150	7,021,813	101	10,520,774	150	7,051,406	67	
合計	6,928,150	7,021,813	101	10,520,774	150	7,051,406	67		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		営繕工事1件あたりの処理時間							
指標説明(式)		従事時間数(2635時間) ÷ 工事件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
時間	目標			-		-		-	
	実績	417	238	57.1	220	92.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	施設管理上の営繕工事の実施	3
効率性	執行体制の効率性	関係各課より受託工事	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	4

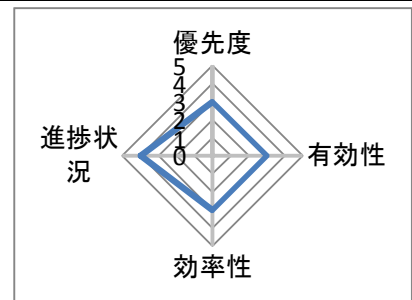
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	破損、老朽箇所等の修繕のみを実施し、建物の延命化を図る工事が行われない傾向がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	建物の延命化を図る工事の提案をし、施設管理者に予算措置を依頼する。



配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101030800		事業の種類	9	
年度	27	事務事業名	住環境整備費事務経費		予算事業名	住環境整備費事務経費 優先度	
まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課			
施策名(中)	秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	斎藤 誠	担当者名	古川・萩原	
取組み事項	住環境の整備と保全を行う		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)						
	誰(何)を対象として						
	意図(どのような状態にしたいのか)						

2 事業の概要 Do

実施の概要		旅費、消耗品費のみである。				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員			-		-		-	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	317,330	358,533	113	345,254	96	316,446	92	
	事業費	164,788	115,667	70	121,760	105	142,000	117	
	合計	482,118	474,200	98	467,014	98	458,446	98	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	482,118	474,200	98	467,014	98	458,446	98	
合計	482,118	474,200	98	467,014	98	458,446	98		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

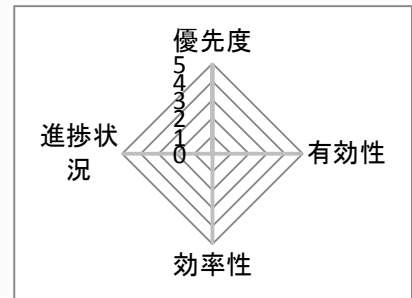
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容



配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101030900	事業の種類	4
年度	27	事務事業名	空き家対策事業	予算事業名	空家等対策事業
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	市民生活部地域振興課
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	松本 秀文
取組み事項		住環境の整備と保全を行う		実施計画への記載	有
実施計画事業名		空き家対策事業		担当者名	志水 弘樹
根拠法規及び関連法規		空家等対策の推進に関する特別措置法			
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民			
	誰(何)を対象として	空家等			
	意図(どのような状態にしたいのか)	空家等を適正管理することで、地域住民の生命、身体又は財産を保護するとともに、その生活環境の保全を図り、公共の福祉の増進と地域の振興に寄与することを目的とする			

2 事業の概要 Do

実施の概要		空家等実態調査等により空家件数を把握し、適正管理を促す				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	空家件数	棟			784	800

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円			
インプット指標	25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.000	-	0.026	-	0.026	100
	参事以下職員			-	0.462	-	0.512	111
	臨時職員			-	0.176	-	0.064	36
支出内訳	人件費			-	4,245,282	-	4,512,926	106
	事業費			-	1,298,938	-	146,000	11
	合計			-	5,544,220	-	4,658,926	84
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金			-		-		-
	市債			-		-		-
	その他			-		-		-
	一般財源			-	5,544,220	-	4,658,926	84
合計			-	5,544,220	-	4,658,926	84	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		空家判定D件数							
指標説明(式)		地域住民の安全のためD判定の空家の解消を促す							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
棟	目標			-	30	-	30	100.0	
	実績			-	31	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

【効率性】

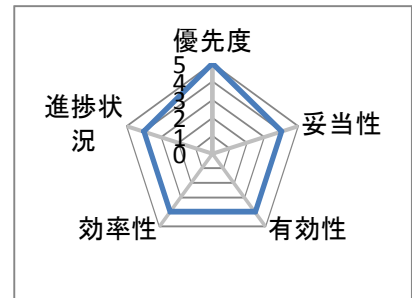
指標名1		空家等の相談件数							
指標説明(式)		空家等の相談件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件	目標			-	30	-	30	100.0	
	実績	8	9	112.5	28	311.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	空家等の有効活用から危険空家の解消まで幅広い対応が期待されている。	4
	成果の向上	地域住民の安全・安心のためには空家等対策の成果の向上が必要となっており有効な施策を行っていく必要がある。	
効率性	負担割合の適正化	空家等の適正管理には所有者等の理解が必要となっているため必要に応じて財政支援の検討が必要である。	4
	執行体制の効率性	空家等の適正管理には所有者等の理解が必要となっているため各種関係団体との連が必要となるため体制づくりを行う。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	適正に進捗している	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	負担割合の適正化	空家等の適正管理には所有者等の理解が必要となっているため必要に応じて財政支援の検討が必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	緊急性・優先性	緊急措置の基準など基本計画の策定の必要がある

配点	32.5
総合評価	28

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101031000		事業の種類	9	
年度	27	事務事業名	住宅耐震改修促進事業		予算事業名		
まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課			
施策名(中)	秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	斎藤 誠	担当者名	國重・萩原	
取組み事項	住環境の整備と保全を行う		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)						
	誰(何)を対象として						
	意図(どのような状態にしたいのか)						

2 事業の概要 Do

実施の概要		旅費、消耗品費のみである。				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画

3 投入資源

会計区分		事業費単位:円							
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員			-		-	0.052	-	
	臨時職員			-		-	0.020	-	
支出内訳	人件費	317,330	358,533	113	345,254	96	779,182	226	
	事業費	164,788	115,667	70	0	0	-	-	
	合計	482,118	474,200	98	345,254	73	779,182	226	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	482,118	474,200	98	345,254	73	779,182	226	
合計	482,118	474,200	98	345,254	73	779,182	226		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

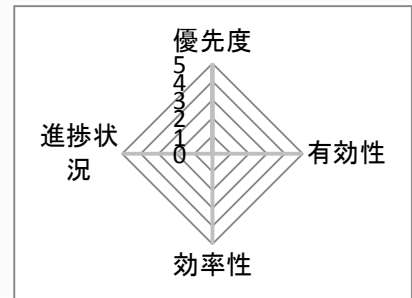
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容



配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101040200		事業の種類	2		
年度	27	事務事業名	再開発住宅管理事業		予算事業名	再開発住宅管理事業	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課			
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	水原 至	担当者名	後藤 卓	
取組み事項		定住促進と居住水準の向上を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名		再開発住宅管理事業		再開発住宅管理事業				
根拠法規及び関連法規		相生駅南再開発住宅条例・相生駅南再開発住宅条例施行規則						
事業の目的	誰のために(具体的に)	事業区域内の住宅困窮者及び仮住居者						
	誰(何)を対象として	事業区域内の住宅困窮者及び仮住居者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	事業区域内の住宅困窮者及び仮住居者のために、生活する住居を提供し、その住居を維持管理する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生駅南土地区画整理事業施行に伴い、住宅に困窮することとなった区域内の居住者のために建築した相生駅南再開発住宅において、入居者の選定から建物の維持管理まで行う。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	再住維持管理費	千円	2,304	2,977	2,392	3,324	
	再住家賃収入	千円	21,140	19,503	17,478	17,122	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.120	0.080	67	0.080	100	0.080	100	
	臨時職員	0.040	0.060	150	0.060	100	0.060	100	
支出内訳	人件費	1,337,410	1,124,173	84	1,094,954	97	1,107,446	101	
	事業費	2,304,333	2,976,943	129	2,391,993	80	3,324,000	139	
	合計	3,641,743	4,101,116	113	3,486,947	85	4,431,446	127	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	21,140,000	4,101,116	19	3,486,947	85	4,431,446	127	
	一般財源	-17,498,257	0	0	0	-	0	-	
合計	3,641,743	4,101,116	113	3,486,947	85	4,431,446	127		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		再開発住宅入居率							
指標説明(式)		入居戸数(各年度末)／全戸数×100							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	97	86	88.7	83	96.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		再開発住宅収益率							
指標説明(式)		再開発住宅家賃収入／再開発住宅維持管理費×100 (100%以上が健全経営とする)							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	793	644	81.2	644	100.0		0.0	
	実績	918	655	71.4	731	111.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	入居者が退去した後の空部屋を有効利用するため、公募による一般入居を行い、入居者の増加を図った。	5
効率性	コストの節減	施設の修繕が増加傾向にある中、緊急性等を考慮しながら費用の平準化に努めた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗している。	4

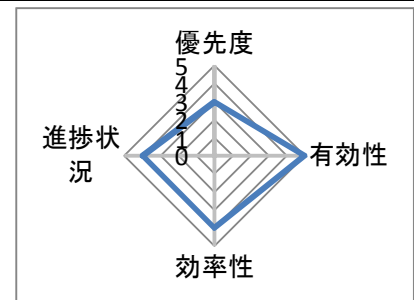
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	入居率が低下傾向である

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	旧型シャワーの取替を行うなど設備の改修を行い利便性の向上を図る



配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101040300	事業の種類	2
年度	27	事務事業名	市営住宅維持管理事業	予算事業名	公営住宅維持管理事業
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	水原 至
取組み事項		定住促進と居住水準の向上を図る		実施計画への記載	有
実施計画事業名		公営住宅整備事業		担当者名	後藤 卓
				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規		公営住宅法、公営住宅法施行令、公営住宅法施行規則 相生市営住宅条例、相生市営住宅条例施行規則			
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内に住所地又は勤務地を有する者			
	誰(何)を対象として	住宅に困窮する低額所得者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	低廉な家賃を提供することにより、低額所得者にとって今までの高額家賃から開放され、生活にゆとりが生まれてくる。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		健康で文化的な生活を営むに足る住宅を整備し、これを住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で提供する。				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	募集戸数	戸	10	12	14	12
	応募者数	人	2	8	3	3

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.684	0.560	82	0.560	100	0.448	80	
	臨時職員	0.124	0.184	148	0.184	100	0.184	100	
支出内訳	人件費	5,877,922	5,144,533	88	4,998,670	97	4,334,734	87	
	事業費	6,999,496	7,453,694	106	3,786,913	51	8,309,000	219	
	合計	12,877,418	12,598,227	98	8,785,583	70	12,643,734	144	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	18,716,000	12,598,227	67	8,785,583	70	12,643,734	144	
	一般財源	-5,838,582	0	0	0	-	0	-	
合計	12,877,418	12,598,227	98	8,785,583	70	12,643,734	144		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		応募倍率							
指標説明(式)		応募者数/募集戸数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	0.2	0.7	350.0	0.2	28.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		市営住宅1戸当たりの維持修繕費							
指標説明(式)		維持修繕費／管理戸数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	59,603	59,603	100.0	59603	100.0	59603	100.0	
	実績	43,114	54407	126.2	25079	46.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	退去した住宅の修繕を早急に行い、応募者一人当たりの住宅供給度を上げる。	4
	市民サービス	低所得者層への住宅供給	
効率性	コストの節減	老朽化により修繕費が増加傾向	2
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	長寿命化計画に基づく建て替え等が困難	1

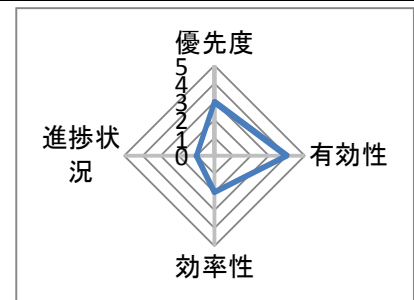
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	緊急性・優先性	老朽化が進む中長寿命化計画に代わる代替案の検討が急務

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	緊急性・優先性	現地建て替え及び民間賃貸住宅借上げによる具体的な更新計画の策定



配点	25
総合評価	13

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号	050101040400	事業の種類	2
年度	27	事務事業名	コミュニティ住宅管理事業
予算事業名	コミュニティ住宅管理事業	優先度	3
まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち	担当部局名	建設農林部建設管理課
施策名(中)	秩序あるまちづくりを推進する	担当課長	水原 至
取組み事項	定住促進と居住水準の向上を図る	実施計画への記載	有
		担当者名	後藤 卓
		主要事業の指定	無
実施計画事業名	コミュニティ住宅管理事業	コミュニティ住宅管理事業	
根拠法規及び関連法規	コミュニティ住宅条例・コミュニティ住宅条例施行規則		
事業の目的	誰のために(具体的に)	事業区域内の住宅困窮者及び仮住居者	
	誰(何)を対象として	事業区域内の住宅困窮者及び仮住居者	
	意図(どのような状態にしたいのか)	事業区域内の住宅困窮者及び仮住居者のために、生活する住居を提供し、その住居を維持管理する。	

2 事業の概要 Do

実施の概要	那波丘の台住環境整備事業及び土地区画整理事業施行に伴い、住宅に困窮することとなった区域内の居住者のために建築した那波丘の台コミュニティ住宅において、入居者の選定から建物の維持管理まで行う。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	コミ住維持管理費	千円	3,430	2988	6699	3703
	コミ住家賃収入	千円	26,128	27946	27621	26128

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円			
インプット指標	25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100
	参事以下職員	0.148	0.144	97	0.144	100	0.152	106
	臨時職員	0.040	0.064	160	0.064	100	0.064	100
支出内訳	人件費	1,552,646	1,629,765	105	1,583,878	97	1,684,046	106
	事業費	3,430,727	2,987,558	87	6,698,591	224	3,703,000	55
	合計	4,983,373	4,617,323	93	8,282,469	179	5,387,046	65
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金			-		-		-
	市債			-		-		-
	その他	4,983,373	4,617,323	93	8,282,469	179	5,387,046	65
	一般財源		0	-	0	-	0	-
合計	4,983,373	4,617,323	93	8,282,469	179	5,387,046	65	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	コミュニティ住宅入居率								
指標説明(式)	入居戸数(各年度末)÷全58戸×100 目標率:H24=58戸/57戸×100=98.3%、H25・26・27=58/58戸=100%								
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	100	100.0	97	97.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		コミュニティ住宅収益率							
指標説明(式)		コミュニティ住宅家賃収入/コミュニティ住宅維持管理費×100 (100%以上が健全経営とする)							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	744	748	100.5	750	100.3	500	66.7	
	実績	762	935	122.7	412	44.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	事業入居者が退去した後の空部屋を有効利用するために、公募による一般入居を行い、入居者の増加を図った。	5
効率性	コストの節減	設備の修繕が増加傾向にある中、緊急性を考慮しながら経費の平準化に努めた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗している。	4

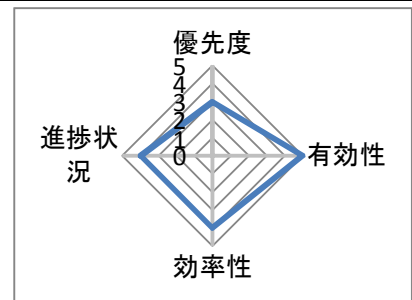
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	施設の老朽化により維持管理経費が増加している

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	維持管理経費について限られた予算の中で優先度を見極め対応する



配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101040500		事業の種類	4	
年度	27	事務事業名	若者定住促進奨励金支給事業		予算事業名	若者定住促進奨励金支給事業 優先度	
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課		
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	水原 至	担当者名	後藤 卓
取組み事項		定住促進と居住水準の向上を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市若者定住促進奨励金交付要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	自己が居住する住宅を取得した40歳未満の若者					
	誰(何)を対象として	若者定住促進奨励金の支出					
	意図(どのような状態にしたいのか)	若者の住宅取得を容易にし、若者世帯の定住を促進する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		対象者に、月1万円の奨励金を60ヶ月間交付(但し、毎年度ごとに交付申請と請求を行い、1年度分を、翌年度4月に振り込みとする。)					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	交付決定件数	件	285	281	248	205	
	“(新規分)”	件	82	0	0	0	
	“(継続分)”	件	203	281	248	205	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.148	0.084	57	0.084	100	0.084	100	
	臨時職員	0.252	0.500	198	0.500	100	0.500	100	
支出内訳	人件費	2,070,138	2,224,365	107	2,233,242	100	2,329,518	104	
	事業費	26,370,000	32,520,000	123	28,550,000	88	21,580,000	76	
	合計	28,440,138	34,744,365	122	30,783,242	89	23,909,518	78	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	28,440,138	34,744,365	122	30,783,242	89	23,909,518	78	
合計	28,440,138	34,744,365	122	30,783,242	89	23,909,518	78		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
回	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

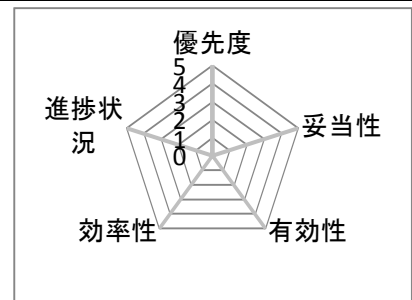
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容



配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		050101040600		事業の種類		4	
年度	27	事務事業名	転入者住宅取得奨励金交付事業		予算事業名		
まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課			
施策名(中)	秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	水原 至	担当者名	後藤 卓	
取組み事項	定住促進と居住水準の向上を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規			転入者住宅取得奨励金交付要綱				
事業の目的	誰のために(具体的に)	市外から転入して市内に住宅を新築又は購入した者					
	誰(何)を対象として	転入者住宅取得奨励金の支出					
	意図(どのような状態にしたいのか)	転入及び定住の促進を図る					

2 事業の概要 Do

実施の概要		対象者に30万円(満18歳以下の世帯員がいる場合は、1人につき5万円を加算する)の奨励金を交付する。総額は50万円を限度とする。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	交付決定件数	件	48				

3 投入資源

会計区分		事業費単位:円							
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.208		0		-		-	
	臨時職員	0.124		0		-		-	
支出内訳	人件費	2,218,910	358,533	16	345,254	96	316,446	92	
	事業費	16,750,000		0		-		-	
	合計	18,968,910	358,533	2	345,254	96	316,446	92	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	18,968,910	358,533	2	345,254	96	316,446	92	
合計	18,968,910	358,533	2	345,254	96	316,446	92		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2		住宅取得奨励金制度に対する満足度							
指標説明(式)		アンケート結果から見る、奨励金制度が転入して住宅を取得するきっかけになった割合(アンケート結果)住宅取得のきっかけになった延件数/延交付件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
回	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

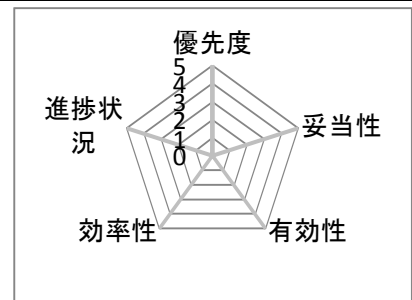
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容



配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101040700	事業の種類	4	
年度	27	事務事業名	新婚世帯家賃補助金交付事業	予算事業名	新婚世帯家賃補助金交付事業	
まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	企画総務部定住促進室		
施策名(中)	秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	松尾 次郎	担当者名	北條 麻梨香
取組み事項	定住促進と居住水準の向上を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名						
根拠法規及び関連法規		新婚世帯賃貸住宅家賃補助金交付要綱				
事業の目的	誰のために(具体的に)	民間賃貸住宅の賃貸借契約を締結した婚姻3年以内で40歳未満の若者				
	誰(何)を対象として	民間賃貸住宅の賃貸借契約を締結した婚姻3年以内で40歳未満の若者				
	意図(どのような状態にしたいのか)	新婚世帯の市内への定住及び民間賃貸住宅の活用を促進する				

2 事業の概要 Do

実施の概要		対象者に月1万円の補助金を3年間交付(但し、毎年度ごとに交付申請と請求を行い、1年度分を、翌年度4月に振り込みとする。)				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	交付決定件数	件	258	292	301	329
	“(新規分)”	件	123	67	96	100
	“(継続分)”	件	135	225	205	229

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.268	0.228	85	0.140	61	0.112	80	
	臨時職員	0.252	0.200	79	0.200	100	0.220	110	
支出内訳	人件費	2,992,578	2,611,077	87	1,896,534	73	1,791,862	94	
	事業費	20,160,000	26,880,000	133	25,440,000	95	31,270,000	123	
	合計	23,152,578	29,491,077	127	27,336,534	93	33,061,862	121	
財源内訳	国庫支出金			-	20,812,000	-		0	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	23,152,578	29,491,077	127	6,524,534	22	33,061,862	507	
	合計	23,152,578	29,491,077	127	27,336,534	93	33,061,862	121	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		新規交付決定件数のうち市外からの転入件数							
指標説明(式)		新規交付決定件数(新規分)のうち市外からの転入件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件	目標	10	50	500.0	50	100.0	60	120.0	
	実績	72	38	52.8	56	147.4			
指標名2		新規交付決定件数のうち市外からの転入者数							
指標説明(式)		新規交付決定件数(新規分)のうち市外からの転入者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	-	-	-	-	-	130	-	
	実績	-	83	-	136	163.9			

【効率性】

指標名1		パンフレット設置依頼数							
指標説明(式)		「11の鍵」のパンフレットを設置依頼した不動産業者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	15	20	133.3	30	150.0	25	83.3	
	実績	15	26	173.3	12	46.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
社	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	新婚世帯の市内への定住及び民間賃貸住宅の活用が促進でき、活力ある地域づくり、活気あるまちづくりに貢献している。	4
	成果の向上	11の鍵をはじめとした定住施策全体の効果として転入者数が増加していると考えられるが、本制度が転入のきっかけになっており、有効に機能している。	
効率性	執行体制の効率性	毎年、住民票及び戸籍謄本等を添付して申請させることで要件を満たさなくなった者を除外でき、適正な運営とともにコストの節約を図っている。	3
	手段の最適性	制度のPRついて、不動産業者へパンフレット設置を依頼することで、効果的なPRの手段がとれている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	新規交付者(転入者)の件数が増加している。	4

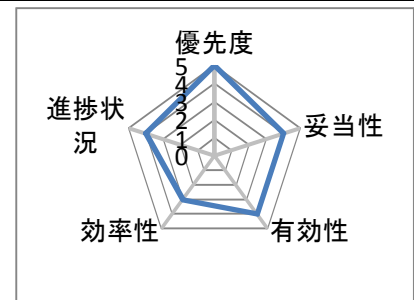
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	同様の事業を行う市町が増えているので、他市町との差別化を図る必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	11の鍵をはじめとした定住施策全体を、地域創生の一環としてとらえ、内容等の見直しを行いながら取り組む。



配点	32.5
総合評価	27

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101040800		事業の種類	2		
年度	27	事務事業名	定住促進住宅管理事業		予算事業名	定住促進住宅管理事業	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課			
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	水原 至	担当者名	後藤 卓	
取組み事項		定住促進と居住水準の向上を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名		佐方定住促進住宅管理事業		佐方定住促進住宅管理事業				
根拠法規及び関連法規		定住促進住宅条例・定住促進住宅条例施行規則						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内に定住するために住宅が必要な者						
	誰(何)を対象として	市内に定住するために住宅が必要な者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	市内に定住するために住宅が必要な者に生活する住居を提供し、その住居を維持管理する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		市内への定住を促進するために独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構より取得した定住促進住宅において、入居者の選定から建物の維持管理まで行う。						
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画		
	定住維持管理費	千円	3,182	3069	2384	2994		
	定住家賃収入	千円	13,541	13469	12990	12043		

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標	25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.148	0.084	57	0.084	100	0.084	100	
	臨時職員	0.044	0.064	145	0.064	100	0.064	100	
支出内訳	人件費	1,562,410	1,164,885	75	1,134,958	97	1,149,702	101	
	事業費	3,181,850	1,904,287	60	1,248,555	66	1,844,000	148	
	合計	4,744,260	3,069,172	65	2,383,513	78	2,993,702	126	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	4,744,260	3,069,172	65	2,383,513	78	2,993,702	126	
	一般財源		0	-	0	-	0	-	
合計	4,744,260	3,069,172	65	2,383,513	78	2,993,702	126		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		定住促進住宅入居率							
指標説明(式)		入居戸数(各年度末) / 全戸数 × 100							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	76.9	69.2	90.0	69.2	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		定住促進住宅収益率							
指標説明(式)		定住促進住宅家賃収入／定住促進住宅維持管理費×100(100%以上が健全経営とする)							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	426	439	103.1	545	124.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	入居者の増加を図るため、随時、公募による募集を行っている。	3
効率性	コストの節減	設備の修繕が増加傾向にある中、緊急性を考慮しながら経費の平準化に努めた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり進捗している。	4

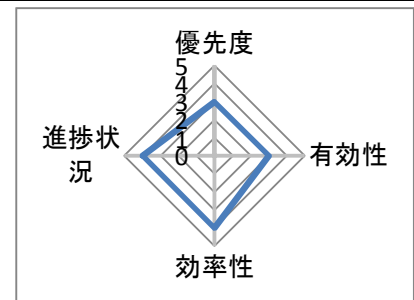
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	入居率の低下

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	新婚世帯家賃補助事業の対象住宅に変更し入居促進に努める



配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101040900		事業の種類	4	
年度	27	事務事業名	定住者住宅取得奨励金交付事業		予算事業名	定住者住宅取得奨励金交付事業	
まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	企画総務部定住促進室			
施策名(中)	秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	松尾 次郎		担当者名	北條 麻梨香
取組み事項	定住促進と居住水準の向上を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規	相生市定住者住宅取得奨励金交付要綱						
事業の目的	誰のために(具体的に)	自己が居住する住宅を取得した40歳未満の若者または市外からの転入者					
	誰(何)を対象として	自己が居住する住宅を取得した40歳未満の若者または市外からの転入者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	若者及び転入者の住宅取得を容易にし、定住の促進を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要	住宅を新築または購入した40歳未満の世帯(若者世帯)については50万円、市外からの転入者については30万円(年齢制限なし)の奨励金を5年に分けて交付する。若者世帯かつ転入者であれば、最大80万円の奨励金となる。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	交付決定件数	件	-	48	135	215
	“(新規分)”	件	-	48	47	80
	“(継続分)”	件	-	-	88	135

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円			
インプット指標	25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.027	-	0.026	96	0.026	100
	参事以下職員		0.156	-	0.132	85	0.112	85
	臨時職員		0.048	-	0.120	250	0.136	113
支出内訳	人件費		1,683,861	-	1,635,158	97	1,564,558	96
	事業費			-	14,920,000	-	21,540,000	144
	合計		1,683,861	-	16,555,158	983	23,104,558	140
財源内訳	国庫支出金			-	9,794,000	-		0
	県支出金			-		-		-
	市債			-		-		-
	その他			-		-		-
	一般財源		1,683,861	-	6,761,158	402	23,104,558	342
合計		1,683,861	-	16,555,158	983	23,104,558	140	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	新規交付決定件数のうち市外からの転入件数								
指標説明(式)	新規交付決定件数のうち市外からの転入件数								
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標	-	-	-	20	-	30	150.0	
	実績	-	16	-	33	206.3			
指標名2	新規交付決定件数のうち市外からの転入者数								
指標説明(式)	新規交付決定件数(新規分)のうち市外からの転入者数								
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標	-	-	-	-	-	100	-	
	実績	-	43	-	107	248.8			

【効率性】

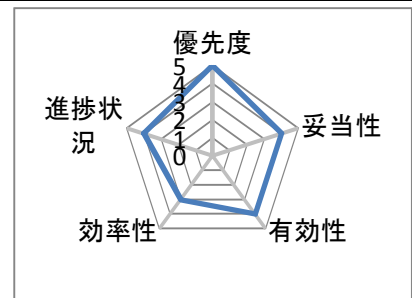
指標名1		パンフレット設置依頼数							
指標説明(式)		「11の鍵」のパンフレットを設置依頼した住宅メーカー数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標	-	-	-	45	-	45	100.0	
	実績	-	45	-	14	31.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	新規交付件数のうちの転入者の割合は全体の30%程度であるが、前年度よりも交付件数は増加しており、転出抑制になっていると考えられる。	4
	成果の向上	11の鍵をはじめとした定住施策全体の効果として転入者数が増加していると考えられる。若い世代が定住先を選択し、住宅を新築・購入する上では本制度が転入のきっかけになっており、有効に機能している。	
効率性	執行体制の効率性	若者定住促進奨励金事業と転入者住宅取得奨励金を統合したことにより、審査等を迅速かつ効率的に行っている。	3
	手段の最適性	住宅メーカー等へパンフレット設置を依頼することで、効果的なPRが図られている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	新規交付件数が大幅に増え、転入促進、転出抑制の効果がある。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	同様の事業を行う市町が増えており、他市町との差別化を図る必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	11の鍵をはじめとした定住施策全体を、地域創生の一環としてとらえ、内容等の見直しを行いながら取り組む。

配点	32.5
総合評価	27

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101041000	事業の種類	5	
年度	27	事務事業名	宅地供給促進助成金交付事業	予算事業名	宅地供給促進助成金交付事業	
まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	企画総務部定住促進室		
施策名(中)	秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	松尾 次郎	担当者名	北條 麻梨香
取組み事項	定住促進と居住水準の向上を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名						
根拠法規及び関連法規	相生市宅地供給促進助成金交付要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市外化区域内に農地を所有し、住宅分譲地整備のために売却した個人				
	誰(何)を対象として	宅地供給促進助成金の支出				
	意図(どのような状態にしたいのか)	市街化区域内の土地の利活用を促進し、宅地供給の増加を図る				

2 事業の概要 Do

実施の概要	市外化区域内に所有する面積500平方メートル以上の農地等を3区画以上の住宅分譲地整備を行うために売却した個人に対し、1契約ごとに譲渡価額から取得費及び譲渡費用、特別控除額を差し引いた譲渡所得金額の3%を助成する。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	交付決定件数	件	-	0	0	1

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.000	-	0.026	-	0.026	100	
	参事以下職員			-	0.020	-	0.020	100	
	臨時職員			-	0.000	-	0.000	-	
支出内訳	人件費			-	494,894	-	473,606	96	
	事業費			-	0	-	2,450,000	-	
	合計			-	494,894	-	2,923,606	591	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源			-	494,894	-	2,923,606	591	
合計			-	494,894	-	2,923,606	591		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	対象調査件数								
指標説明(式)	開発届出受付が受理された宅地供給促進助成金の対象調査件数								
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標	-	-	-	5	-	1	20.0	
	実績	-	9	-		0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

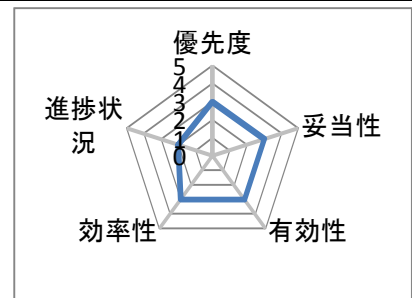
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	面積や区画数に制限があり、調査対象にはあがるものの、助成金の執行には至っていない。	3
	市民サービス	土地売却益による譲渡所得に係る市民税(3%)相当額を助成することで、有効な土地活用が期待できる。	
効率性	手段の最適性	不動産事業者からの問合せがあることから、周知の必要がある。	3
	執行体制の効率性	開発届出や農業委員会提出議案の確認などにより、対象者への周知を適正に行っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	助成金の執行に至っていない。	2

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	申請時には適正に審査を行い、速やかに助成金を執行する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	申請時には適正に審査を行い、速やかに助成金を執行する必要がある。

配点	32.5
総合評価	18.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101041100		事業の種類	4	
年度	27	事務事業名	相生市空き家バンク事業		予算事業名		
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	企画総務部定住促進室		
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	松尾 次郎	担当者名	北條 麻梨香
取組み事項		定住促進と居住水準の向上を図る		実施計画への記載	有	主要事業の指定	有
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市空き家情報登録制度「空き家バンク」設置要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内に空き家を所有する者及び市内の空き家の利用を希望する者					
	誰(何)を対象として	市内に空き家を所有する者及び市内の空き家の利用を希望する者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市内の空き家を利活用し、定住を促進する					

2 事業の概要 Do

実施の概要		市内における空き家等の有効活用を通じて、都市間の交流拡大及び定住促進による地域の活性化を図る。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	登録物件数	件	2	3	3	10	
	成約件数	件	0	1	0	5	
	利用者登録件数	件	5	7	7	5	
	市内空き家件数	件	780	-	784	-	

3 投入資源

会計区分		事業費単位:円							
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.027	-	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員		0.112	-		0	0.064	-	
	臨時職員		0.072	-		0	0.020	-	
支出内訳	人件費		1,401,269	-	345,254	25	873,478	253	
	事業費			-		-		-	
	合計		1,401,269	-	345,254	25	873,478	253	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源		1,401,269	-	345,254	25	873,478	253	
合計		1,401,269	-	345,254	25	873,478	253		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		物件登録件数のうちの成約件数の割合							
指標説明(式)		成約件数÷物件登録件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	-	50	-	50	100.0	30	60.0	
	実績	0	33	-	0	0.0			
指標名2		ホームページアクセス数							
指標説明(式)		相生市空き家バンクのホームページへのアクセス件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件	目標	-	-	-	1,000	-	1,200	120.0	
	実績	512	713	139.3	1,107	155.3			

【効率性】

指標名1		登録事業者件数							
指標説明(式)		空き家バンク事業の取引を仲介する登録事業者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
社	目標	-	-	-	10	-	10	100.0	
	実績	-	-	-	10	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	登録物件は多少増えたものの、成約には至っていない。	3
	市民サービス	ホームページやチラシを活用し、物件所有者及び利用希望者への情報提供ができています。	
効率性	手段の最適性	兵庫県宅地建物取引業協会西播磨支部と協定を結び、登録事業者と連携することが事業を進める上で利用者の安心も確保でき、最適な手段である。	3
	執行体制の効率性	兵庫県宅地建物取引業協会西播磨支部を通して、各登録事業者への通知、依頼等について効率的に行われている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	制度は浸透してきているものの、登録可能な物件が少なく、成約にまで至っていない。	2

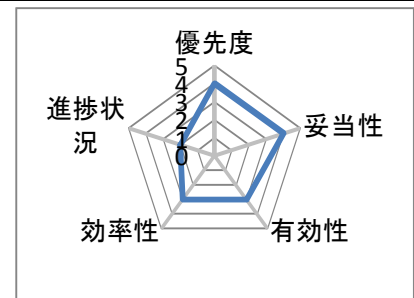
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	利活用可能な物件登録の確保

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	物件所有者へ空き家バンク制度の周知を図るとともに、登録事業者との連携を図る。



配点	32.5
総合評価	22

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号	050102010100		事業の種類	1			
年度	27	事務事業名	安室ダム水道用水供給事業	予算事業名	安室ダム水道用水供給事業	優先度	3
まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	企画総務部企画広報課			
施策名(中)	上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	松尾 次郎	担当者名	富田 大三	
取組み事項	上水道の安定供給と安全強化を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	安室ダム水道用水供給企業団					
	意図(どのような状態にしたいのか)	将来、高度化する地域住民の生活水準及び宅地開発等により都市用水の急速な需要の増加となったときのための安定供給及び洪水調節等の治水対策。					

2 事業の概要 Do

実施の概要	将来の宅地開発等により都市用水の急速な需要の増加への安定供給及び洪水調節等の治水対策のために建設された安室ダム事業					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	議会	回	2	2	2	2
	担当者会議	回	2	2	2	2

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標	25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.028	0.016	57	0.012	75	0.012	100	
	臨時職員	0.004	0.004	100		0		-	
支出内訳	人件費	542,330	492,221	91	435,038	88	410,742	94	
	事業費	59,858,000	65,198,000	109	61,698,000	95	50,932,000	83	
	合計	60,400,330	65,690,221	109	62,133,038	95	51,342,742	83	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	60,400,330	65,690,221	109	62,133,038	95	51,342,742	83	
合計	60,400,330	65,690,221	109	62,133,038	95	51,342,742	83		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	安室ダム水源開発費								
指標説明(式)	安室ダム水源開発費経費								
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
千円	目標	17,041	16,610	97.5		0.0		-	
	実績	17,041		0.0		-			
指標名2	安室ダム水道用水供給量								
指標説明(式)	水道用水供給量								
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
m ³	目標	0	0	-	0	-		-	
	実績	0	0	-		-			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	将来的にもダムを保有する限り機器更新などへの対応が必要である。	2
	関係(根拠)法令等から見た効果	義務的経費であり、予定どおり償還する以外ない。	
効率性	執行体制の効率性	事務については、安室ダム水道用水供給企業団事務局が行っており、効率的である。	2
	コストの節減	機器更新が終了したことにより、負担額が減少している。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	水需要が見込まれない状況化であり、供用開始されていない。	1

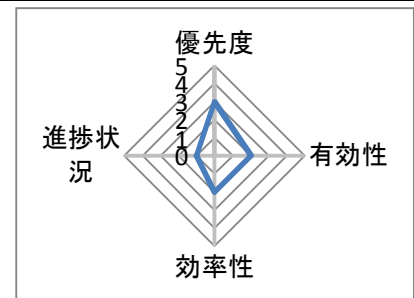
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	水需要が見込まれないなかで、償還のみが残った状況である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	新たな費用負担が発生しないよう、県等と連携を強めて取り組む。



配点	25
総合評価	11

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		050102010200		事業の種類		3	
年度	27	事務事業名	西播磨水道企業団連絡調整事業	予算事業名	西播磨水道企業団事業	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	企画総務部企画広報課		
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	松尾 次郎	担当者名	横川 昌紀
取組み事項		上水道の安定供給と安全強化を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	西播磨水道企業団					
	意図(どのような状態にしたいのか)	西播磨水道企業団事業からの給水を受け、清浄な水を安定供給する。市民への水道用水を供給する企業団と市との連絡調整を行うため必要。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		西播磨水道企業団との連絡調整を行う。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	有収水量	m3	4,232,971	4,075,177	4,083,841	4,000,000	
	給水人口	人	30,862	30,460	30,380	30,000	

3 投入資源

会計区分		一般会計		事業費単位:円					
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.032	0.016	50	0.012	75	0.012	100	
	臨時職員	0.004	0.004	100		0		-	
支出内訳	人件費	573,078	492,221	86	435,038	88	410,742	94	
	事業費	5,467,000	39,475,000	722	1,208,000	3	1,143,000	95	
	合計	6,040,078	39,967,221	662	1,643,038	4	1,553,742	95	
財源内訳	国庫支出金		38,313,000	-		0		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	6,040,078	1,654,221	27	1,643,038	99	1,553,742	95	
合計	6,040,078	39,967,221	662	1,643,038	4	1,553,742	95		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		水道議会開催数							
指標説明(式)		水道議会(定例会及び臨時)の開催数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
回	目標	3	3	100.0	3	100.0	3	100.0	
	実績	3	3	100.0	3	100.0			
指標名2		有収水量							
指標説明(式)		水道料金徴収の対象となった水量							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
m3	目標	-	-	-	-	-	4,000,000	-	
	実績	4,232,971	4,075,177	96.3	4,083,841	100.2			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	水質管理された水が安定して供給されている。	3
効率性	執行体制の効率性	現状は、たつの市と広域で運営する西播磨水道企業団との連絡調整という部分であり、効率的に実施できている。	3
	コストの節減	臨時的な負担金等の発生がなかったため、例年並みの歳出規模となっている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	上水道事業としては、広域運営において順調に進んでいる。	4

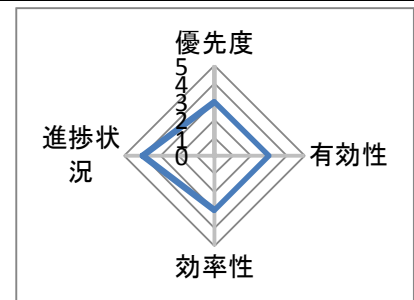
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	現状の連絡調整の事務としては、特に課題はない。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	例年どおり効率的に実行する。



配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050102020100		事業の種類	6		
年度	27	事務事業名	下水道整備事業		予算事業名	下水道整備事業		
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課			
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	水原 至		担当者名	團 剛
取組み事項		公共下水道施設の整備を進める		実施計画への記載	有		主要事業の指定	有
実施計画事業名		公共下水道整備事業						
根拠法規及び関連法規		都市計画法・下水道法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	受益を受ける市民						
	誰(何)を対象として	受益を受ける市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	下水道普及率を100%にする。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		公共下水道の未整備地の整備						
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画		
	整備延長(汚水)	m	62	23	48	100		
	公共樹設置	箇所	58	32	36	30		
	整備延長(雨水)	m		36	70	130		

3 投入資源

会計区分 公共下水特別会計

事業費単位:円

インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.448	0.432	96	0.432	100	0.404	94	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	3,761,106	3,705,669	99	3,577,478	97	3,491,078	98	
	事業費	61,884,673	77,604,498	125	103,218,524	133	192,847,000	187	
	合計	65,645,779	81,310,167	124	106,796,002	131	196,338,078	184	
財源内訳	国庫支出金	4,235,000	32,720,000	773	40,040,000	122	90,000,000	225	
	県支出金			-		-		-	
	市債	3,800,000	29,400,000	774	36,000,000	122	81,000,000	225	
	その他	5,893,591	3,025,970	51	2,176,000	72	1,000,000	46	
	一般財源	51,717,188	16,164,197	31	28,580,002	177	24,338,078	85	
合計	65,645,779	81,310,167	124	106,796,002	131	196,338,078	184		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		普及率							
指標説明(式)		公共下水道区域の人口普及率							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
全体進捗率	目標	99.9	99.9	100.0	99.9	100.0	99.9	100.0	
	実績	99.9	99.9	100.0	99.9	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

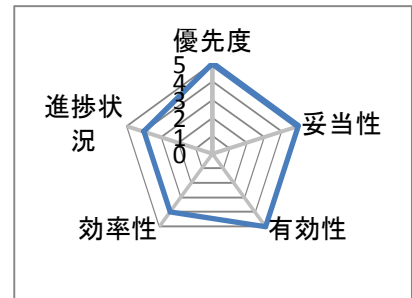
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	污水管の整備はほぼ終焉を迎えているが、浸水対策としての雨水管の整備が急務となっている。	5
効率性	コストの節減	污水整備は計画区域内で、住宅等が無く、整備する必要の無い区域は工事を先送りし、経費の節減を図り、雨水整備は新技術、新工法を採用しコストの節減を図っている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	污水整備は事業計画に対して人口比ではほぼ終焉を迎えているが、浸水対策としての雨水管の整備が急務となっている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	未整備区域の計画把握と経費の削減を図る



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	情報収集と整備工法の低コスト型を検討する

配点	32.5
総合評価	30.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050102020200		事業の種類	7	
年度	27	事務事業名	下水道施設長寿命化事業		予算事業名	下水道施設長寿命化事業 優先度	
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課		
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	水原 至		担当者名 團 剛
取組み事項		公共下水道施設の整備を進める		実施計画への記載	有		主要事業の指定
実施計画事業名						有	
根拠法規及び関連法規		都市計画法・下水道法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	受益を受ける市民					
	誰(何)を対象として	受益を受ける市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	下水処理施設の長寿命化計画を策定し、改築更新により、施設の延命化を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生下水管理センターの長寿命化計画策定及び改築更新工事の実施。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	機能診断	式					
	長寿命化計画策定	式					
	実施設計	式	1	1	1		
	電気・機械設備改築更新	式		1	1	1	

3 投入資源

会計区分 公共下水特別会計

事業費単位:円

インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.256	0.256	100	0.256	100	0.232	91	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,285,202	2,342,021	102	2,260,646	97	2,139,502	95	
	事業費	20,440,240	153,095,840	749	492,310,560	322	507,124,000	103	
	合計	22,725,442	155,437,861	684	494,571,206	318	509,263,502	103	
財源内訳	国庫支出金	10,215,000	80,240,000	786	278,860,000	348	271,680,000	97	
	県支出金			-		-		-	
	市債	9,100,000	65,100,000	715	205,200,000	315	205,900,000	100	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,410,442	10,097,861	296	10,511,206	104	31,683,502	301	
合計	22,725,442	155,437,861	684	494,571,206	318	509,263,502	103		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		契約							
指標説明(式)		日本下水道事業団に委託し、事業を実施する。							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
契約	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	1	1	100.0	1	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

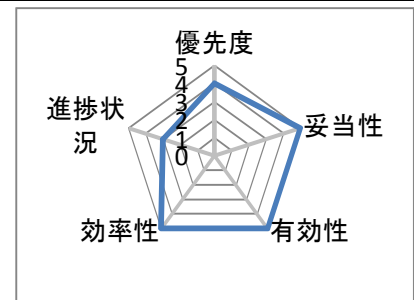
指標名1		事業費							
指標説明(式)		交付金対象事業として実施することにより、コスト節減を図る。							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
交付金	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	1	1	100.0	1	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	事業に精通している日本下水道事業団に委託することにより、相生下水管理センターの改築更新事業に着手することができた。	5
効率性	コストの節減	長寿命化計画を策定し、計画的に事業を実施することで、コストの節減を図り、交付金の対象となる。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	社会資本整備総合交付金の交付額に合わせ事業を実施しているが当初計画より交付金が減少し計画通りに事業が進まない。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	緊急性・優先性	社会資本整備総合交付金の交付額に合わせ事業を実施しているが当初計画より交付金が減少し計画通りに事業が進まない



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	緊急性・優先性	社会資本整備総合交付金の交付額に合わせ、緊急性の高いものから整備を行う

配点	32.5
総合評価	28.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050102030100		事業の種類	7		
年度	27	事務事業名	農業集落排水施設改築更新事業		予算事業名	農業集落排水施設改築更新事業		
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課			
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	水原 至		担当者名	團 剛
取組み事項		農業集落排水施設などの整備を進める		実施計画への記載	有		主要事業の指定	有
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		土地改良法・相生市農業集落排水処理施設及び小規模集合排水施設の設置並びに管理に関する条例						
事業の目的	誰のために(具体的に)	参加市民						
	誰(何)を対象として	参加市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	農業集落排水施設の機能診断を行い最適整備構想を作成し、機能強化等により施設の延命化を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		農業集落排水施設の最適整備構想の作成及び機能強化工事の実施。						
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画		
	機能診断	式						
	最適整備構想	式	1					
	機能強化工事計画策定	式			1	1		
機能強化工事	式				1			

3 投入資源

会計区分

農集特別会計

事業費単位:円

インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.224	0.232	104	0.232	100	0.224	97	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,039,218	2,156,069	106	2,081,078	97	2,076,638	100	
	事業費	105,438,900	13,176,000	12	43,522,920	330	58,027,000	133	
	合計	107,478,118	15,332,069	14	45,603,998	297	60,103,638	132	
財源内訳	国庫支出金	55,000,000	6,588,000	12	21,761,000	330	29,000,000	133	
	県支出金			-		-		-	
	市債	45,000,000	5,900,000	13	19,500,000	331	26,100,000	134	
	その他			-		-		-	
	一般財源	7,478,118	2,844,069	38	4,342,998	153	5,003,638	115	
合計	107,478,118	15,332,069	14	45,603,998	297	60,103,638	132		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		契約							
指標説明(式)		兵庫県土地改良事業団体連合会に委託し、事業を実施する。							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
契約	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	1	1	100.0	1	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

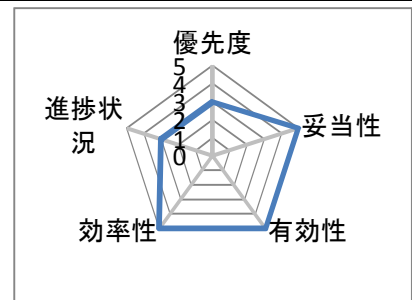
指標名1		事業費							
指標説明(式)		農山漁村地域整備交付金事業として実施することにより、コスト節減を図る。							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
交付金	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	1	1	100.0	1	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	事業に精通している兵庫県土地改良事業団体連合会に委託することにより、農業集落排水施設の改築更新事業に着手することができた。	5
効率性	コストの節減	最適整備構想を策定し、計画的に事業を実施することで、コストの節減を図り交付金の対象となる。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	農山漁村地域整備交付金の交付額に合わせ事業を実施しているが、当初計画より交付金が減少し計画通りに事業が進まない。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	緊急性・優先性	農山漁村地域整備交付金の交付額に合わせ事業を実施しているが、当初計画より交付金が減少し計画通りに事業が進まない。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	緊急性・優先性	農山漁村地域整備交付金の交付額に合わせ、緊急性の高いものから整備を行う。

配点	32.5
総合評価	26.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050102030200		事業の種類	6		
年度	27	事務事業名	農業集落排水整備事業		予算事業名	農業集落排水整備事業	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課			
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	水原 至	担当者名	團 剛	
取組み事項		農業集落排水施設などの整備を進める		実施計画への記載	有	主要事業の指定	無	
実施計画事業名		農業集落排水整備事業						
根拠法規及び関連法規		相生市戸別合併処理浄化槽の設置及び管理に関する条例 相生市農業集落排水処理施設及び小規模集合排水処理施設並びに管理に関する条例						
事業の目的	誰のために(具体的に)	公共下水道区域以外の市民						
	誰(何)を対象として	公共下水道区域以外の市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	早期に100%生活排水の水洗化整備を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		農業集落排水等に新規加入時する住宅等に公共枿を設置。 未整備地で、下水管渠築造工事に多大な費用を要する住宅等に、戸別合併処理浄化槽を設置する。				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	戸別合併浄化槽設置	件	0	0	2	2
	新規加入公共枿設置	件	2	2	0	1

3 投入資源

		会計区分	農集特別会計		事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.204	0.196	96	0.196	100	0.196	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,885,478	1,877,141	100	1,811,726	97	1,856,614	102	
	事業費	941,997	17,349,876	1,842	21,916,224	126	3,000,000	14	
	合計	2,827,475	19,227,017	680	23,727,950	123	4,856,614	20	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他		300,000	-	1,386,000	462	300,000	22	
	一般財源	2,827,475	18,927,017	669	22,341,950	118	4,556,614	20	
合計	2,827,475	19,227,017	680	23,727,950	123	4,856,614	20		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

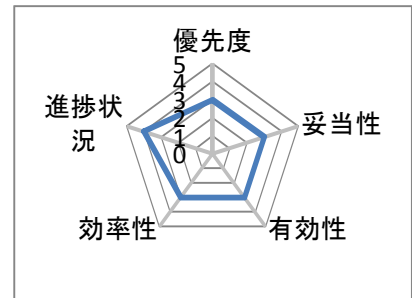
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	新規加入申請に対応しており、市民サービスに込えている。	3
効率性	手段の最適性	公共樹の設置に関して、合理的な工法を選択している。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	事業としては、完了している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	今後、新規加入申請者に対し、速やかに対応できる体制を整える。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容

配点	32.5
総合評価	20.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050102040100		事業の種類	1				
年度	27	事務事業名	下水道管理事業		予算事業名	下水道管理事業		優先度	3	
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち			担当部局名	建設農林部建設管理課				
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る			担当課長	水原 至		担当者名	團 剛	
取組み事項		公共下水道事業の健全経営と維持管理を図る			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無	
実施計画事業名										
根拠法規及び関連法規		下水道法・相生市下水道条例								
事業の目的	誰のために(具体的に)	受益を受ける市民								
	誰(何)を対象として	受益を受ける市民								
	意図(どのような状態にしたいのか)	生活排水による汚濁負荷を低減し、公共水域の水質保全を図るため、総括管理を行う。								

2 事業の概要 Do

実施の概要		施設台帳の整備等総括管理事務を行う。								
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画				
	下水道台帳整備	式	1	1	1	1				
	下水道調査報告	式	1	1	1	1				

3 投入資源

会計区分 公共下水特別会計

事業費単位:円

インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.344	0.344	100	0.344	100	0.312	91	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,961,658	3,023,845	102	2,919,062	97	2,768,142	95	
	事業費	45,037,776	37,221,886	83	34,901,750	94	30,839,000	88	
	合計	47,999,434	40,245,731	84	37,820,812	94	33,607,142	89	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	45,037,776	37,797,399	84	34,901,750	92	30,839,000	88	
	一般財源	2,961,658	2,448,332	83	2,919,062	119	2,768,142	95	
合計	47,999,434	40,245,731	84	37,820,812	94	33,607,142	89		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1										
指標説明(式)										
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考	
	目標			-		-		-		
	実績			-		-		-		
指標名2										
指標説明(式)										
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考	
	目標			-		-		-		
	実績			-		-		-		

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	常に最新の状態に台帳を整備することができる。	3
	関係(根拠)法令等から見た効果	関係法令にそった成果が概ね得られた。	
効率性	手段の最適性	専門業者に委託することにより効率が図られている。	3
	執行体制の効率性	速やかな対応が図られている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	下水整備に合わせて、進捗している。	4

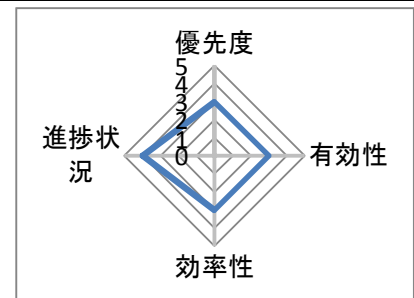
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	下水道台帳と現地に差異があることがある

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	台帳の精査が必要である



配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050102040200		事業の種類	1				
年度	27	事務事業名	賦課徴収事業(下水)		予算事業名	賦課徴収事業		優先度	3	
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち			担当部局名	建設農林部建設管理課				
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る			担当課長	水原 至		担当者名	團 剛	
取組み事項		公共下水道事業の健全経営と維持管理を図る			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無	
実施計画事業名										
根拠法規及び関連法規		下水道法・都市計画法・相生市下水道条例・相生市下水道事業受益者負担金条例								
事業の目的	誰のために(具体的に)	公共下水道事業受益者								
	誰(何)を対象として	公共下水道事業受益者								
	意図(どのような状態にしたいのか)	条例に則り、公共下水道受益者から使用料及び負担金の応分の費用を徴収する。								

2 事業の概要 Do

実施の概要		使用料徴収事務委託により、経費の節減を図る。								
活動実績	項目	単位	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
	下水道使用料徴収	式	1		1		1		1	
	受益者負担金徴収	式	1		1		1		1	

3 投入資源

会計区分 公共下水特別会計

事業費単位:円

インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.312	0.312	100	0.312	100	0.288	92	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,715,674	2,775,909	102	2,679,638	97	2,579,550	96	
	事業費	25,105,316	24,978,044	99	24,973,268	100	25,415,000	102	
	合計	27,820,990	27,753,953	100	27,652,906	100	27,994,550	101	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	25,105,316	24,402,531	97	24,973,268	102	25,415,000	102	
	一般財源	2,715,674	3,351,422	123	2,679,638	80	2,579,550	96	
合計	27,820,990	27,753,953	100	27,652,906	100	27,994,550	101		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		下水道使用料徴収件数								
指標説明(式)		徴収件数/徴収対象件数×100								
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考	
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0		
	実績	97.99	98.18	100.2	98.31	100.1				
指標名2		受益者負担金賦課件数(猶予取消し分含む)								
指標説明(式)		負担金徴収件数/負担金徴収対象件数×100								
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考	
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0		
	実績	92.31	81.8	88.6	100	122.2				

【効率性】

指標名1		下水道使用料徴収金額率							
指標説明(式)		徴収金額／徴収対象金額×100							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	98.17	97.89	99.7	97.88	100.0			
指標名2		受益者負担金徴収金額率							
指標説明(式)		徴収金額／賦課金額×100							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	99.73	95.04	95.3	100	105.2			

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	使用料金徴収を西播磨水道企業団に委託することにより、上水道使用料と一括徴収することができ、徴収率の高率維持につながっている。	5
	成果の向上	下水道受益者負担金は、農業委員会と連携をとり、負担金徴収猶予となっている農地の宅地化の情報を基に、賦課徴収している。	
効率性	コストの節減	使用料金徴収を西播磨水道企業団に委託することにより、上水道使用料と一括徴収することができ、コストを節減している。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	徴収事業は目標に近い率を維持している。	4

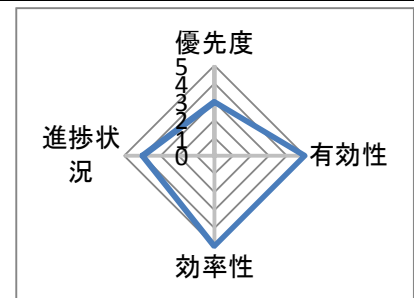
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	支払い能力の低い受益者への催告の方法を検討する

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	分割納付回数について柔軟に対応する



配点	25
総合評価	20

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050102040300		事業の種類	1	
年度	27	事務事業名	排水設備管理事業(下水)		予算事業名	排水設備管理事業 優先度 3	
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課		
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	水原 至		担当者名 團 剛
取組み事項		公共下水道事業の健全経営と維持管理を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		下水道法・相生市下水道条例・相生市下水道排水設備指定工事店規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	受益を受ける市民					
	誰(何)を対象として	排水設備指定工事店					
	意図(どのような状態にしたいのか)	確認審査及び検査を行うことにより、施工の均一性及び見積の適正化を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		下水道排水設備指定工事店の指定を行い、排水設備工事の適正な施工を確保する。排水設備等の設置申請を確認し、排水設備等工事の完了検査を行う。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	確認検査	件	58	80	124	100	

3 投入資源

会計区分 公共下水特別会計

事業費単位:円

インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.208	0.184	88	0.184	100	0.184	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,916,226	1,784,165	93	1,721,942	97	1,762,318	102	
	事業費	254,473	152,882	60	198,811	130	146,000	73	
	合計	2,170,699	1,937,047	89	1,920,753	99	1,908,318	99	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	254,473	152,882	60	198,811	130	146,000	73	
	一般財源	1,916,226	1,784,165	93	1,721,942	97	1,762,318	102	
	合計	2,170,699	1,937,047	89	1,920,753	99	1,908,318	99	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		排水設備件数							
指標説明(式)		排水設備件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件	目標	150	100	66.7	100	100.0	100	100.0	
	実績	58	80	137.9	124	155.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		排水設備確認審査・検査コスト							
指標説明(式)		当該年度支出額／排水設備確認審査・検査件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-		-		-	
	実績	37425	24213	64.7	15489	64.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	設備工事の品質向上がみられた。	3
	関係(根拠)法令等から見た効果	概ね基準どおり施工されている。	
効率性	コストの節減	概ね現状維持。	3
	執行体制の効率性	概ね現状維持。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね順調に推移している。	4

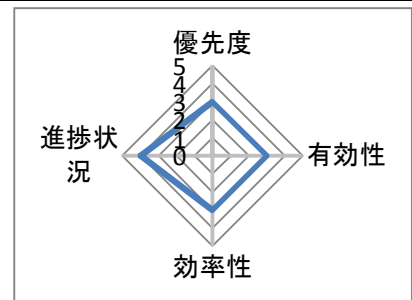
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	施工管理に向上の余地がある

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	確認申請時及び完了検査時に指導を徹底する



配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050102040400		事業の種類	2	
年度	27	事務事業名	汚水処理施設維持管理事業	予算事業名	汚水処理施設維持管理事業	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課		
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	水原 至	担当者名	團 剛
取組み事項		公共下水道事業の健全経営と維持管理を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		下水道法・相生市下水道条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	利用者					
	誰(何)を対象として	利用者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	汚水処理の維持管理を適正に行い、利用者が常に安心して下水道を使用できるようにする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		脱水汚泥等の処分及び下水管渠の清掃。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	汚泥処分	トン	2176	2212	2090	2300	
	管渠清掃	m	10149	12163	9633	10000	
	管渠調査	m	900	0	0	0	

3 投入資源

会計区分 公共下水特別会計

事業費単位:円

インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.252	0.252	100	0.252	100	0.232	92	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,254,454	2,311,029	103	2,230,718	97	2,139,502	96	
	事業費	55,002,269	55,844,232	102	54,844,895	98	59,257,000	108	
	合計	57,256,723	58,155,261	102	57,075,613	98	61,396,502	108	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	55,002,269	55,844,230	102	54,844,895	98	59,257,000	108	
	一般財源	2,254,454	2,311,031	103	2,230,718	97	2,139,502	96	
合計	57,256,723	58,155,261	102	57,075,613	98	61,396,502	108		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		汚泥処分のリサイクル率							
指標説明(式)		リサイクル施設搬入汚泥量/発生汚泥量×100							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		脱水汚泥のセメント原料化施設への搬入率の向上							
指標説明(式)		汚泥のセメント原料化施設搬入量／発生汚泥量×100							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	97.4	97.4	100.0	97.4	100.0	97.4	100.0	
	実績	94.9	94.6	99.7	95.1	100.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	脱水汚泥のリサイクル率100%を維持できている。	4
効率性	コストの節減	汚泥処分費の安価な施設であるセメント工場での処分ができている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

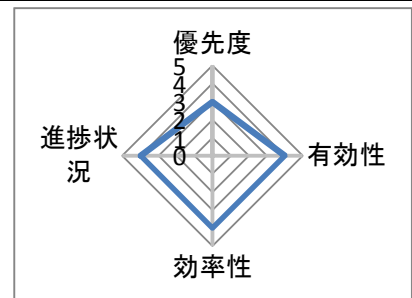
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	汚泥の有効活用を検討する

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		050102040500		事業の種類		2	
年度	27	事務事業名	雨水処理施設維持管理事業	予算事業名	雨水処理施設維持管理事業	優先度	4
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名		建設農林部建設管理課	
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	水原 至	担当者名	團 剛
取組み事項		公共下水道事業の健全経営と維持管理を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		下水道法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	住民					
	誰(何)を対象として	住民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	排水区域内の住居等を浸水から守る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		雨水ポンプ場の適正な維持管理を行う。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	ポンプ場修繕工事	式	1	1	1	1	
	し渣搬出業務委託	式	1	1	1	1	

3 投入資源

会計区分 公共下水特別会計

事業費単位:円

インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.252	0.252	100	0.252	100	0.232	92	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,254,454	2,311,029	103	2,230,718	97	2,139,502	96	
	事業費	13,397,520	15,419,170	115	14,954,412	97	20,575,000	138	
	合計	15,651,974	17,730,199	113	17,185,130	97	22,714,502	132	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	13,397,520		0		-		-	
	一般財源	2,254,454	17,730,199	786	17,185,130	97	22,714,502	132	
合計	15,651,974	17,730,199	113	17,185,130	97	22,714,502	132		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		浸水戸数							
指標説明(式)		排水区域内の浸水戸数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
戸	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	ポンプ場の機能により浸水被害を防ぐことができた。	5
効率性	手段の最適性	点検業務を適正に行うことにより、緊急時対応もできた。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	長寿命化の検討が必要。	4

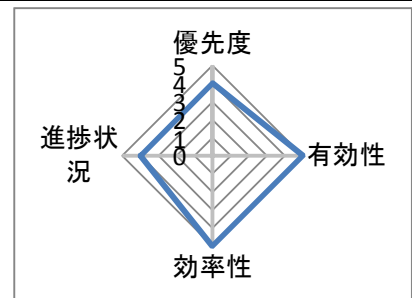
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	設備の老朽化に対する検討が必要 早急な雨水幹線の整備が必要

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	千尋地区雨水幹線の整備を最優先に事業を実施する



配点	25
総合評価	22

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050102040600		事業の種類	1	
年度	27	事務事業名	下水道施設包括維持管理事業		予算事業名	下水道処理施設包括維持管理事業	
まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課			
施策名(中)	上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	水原 至		担当者名	團 剛
取組み事項	公共下水道事業の健全経営と維持管理を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名	公共下水道維持管理事業						
根拠法規及び関連法規	下水道法・相生市下水道条例						
事業の目的	誰のために(具体的に)	利用者及び市内企業					
	誰(何)を対象として	利用者及び市内企業					
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生下水管理センターの運転及び維持管理事業を民間会社に委託し、コストの節減と、民間のノウハウを生かした水処理を適正に行った放流水により相生湾の水質を保全する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要	相生下水管理センター及び汚水ポンプ場の運転・維持管理、修繕業務。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	包括委託	式	1	1	1	1

3 投入資源

会計区分 公共下水特別会計

事業費単位:円

インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.208	0.180	87	0.180	100	0.160	89	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,916,226	1,753,173	91	1,692,014	97	1,573,726	93	
	事業費	228,614,400	240,207,120	105	248,313,600	103	248,314,000	100	
	合計	230,530,626	241,960,293	105	250,005,614	103	249,887,726	100	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	228,614,400	240,207,120	105	248,313,600	103	248,314,000	100	
	一般財源	1,916,226	1,753,173	91	1,692,014	97	1,573,726	93	
合計	230,530,626	241,960,293	105	250,005,614	103	249,887,726	100		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	放流水質基準達成率								
指標説明(式)	要求水準達成日数/365日×100								
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

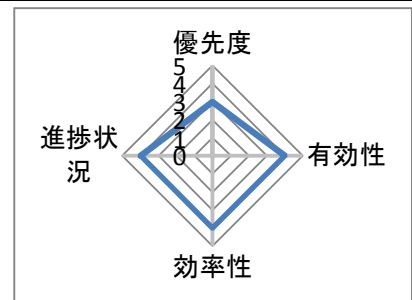
指標名1		電力量の節減							
指標説明(式)		各年度電力量/H21年度電力量×100							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	95	95	100.0	95	100.0	95	100.0	
	実績	95	94.3	99.3	93.2	98.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	民間企業のノウハウと不断の努力により、要求水準どおりの放流水となっている。	4
効率性	執行体制の効率性	民間企業に包括委託することによりコストの削減を図る	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	長寿命化工事の進捗に伴い、施設の維持修繕費の見直しを検討する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050102040700		事業の種類	4		
年度	27	事務事業名	水酸化促進事業(下水)		予算事業名	水酸化促進事業		
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課			
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	水原 至		担当者名	團 剛
取組み事項		公共下水道事業の健全経営と維持管理を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		相生市水洗便所等改造資金貸付条例、相生市水洗便所等改造資金助成金交付要綱						
事業の目的	誰のために(具体的に)	受益を受ける市民						
	誰(何)を対象として	受益を受ける市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	環境衛生の向上を図るため、汲み取り便所の水洗化及び排水設備の設置を促進する						

2 事業の概要 Do

実施の概要		借入の申請を受理して、貸付の可否及び貸付額を決定し、市の工事検査に合格した後に貸付金を交付する。後、借受人から、償還期限までに元金及び利子を市に償還させる。また、生活保護受給者で水洗化を希望する世帯には工事費用を助成する。							
活動実績	項目	単位	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画
	改造資金貸付	件	1		0		0		0
	改造資金助成	件	0		0		0		0

3 投入資源

会計区分 公共下水特別会計

事業費単位:円

インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.244	0.244	100	0.244	100	0.244	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,192,958	2,249,045	103	2,170,862	97	2,233,798	103	
	事業費	147	21	14	0	0	2,001,000	-	
	合計	2,193,105	2,249,066	103	2,170,862	97	4,234,798	195	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	147		0		-	2,001,000	-	
	一般財源	2,192,958	2,249,066	103	2,170,862	97	2,233,798	103	
合計	2,193,105	2,249,066	103	2,170,862	97	4,234,798	195		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		貸付件数							
指標説明(式)		貸付件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件	目標	2	1	50.0	1	100.0	0	0.0	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2		助成件数							
指標説明(式)		助成件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件	目標	1	1	100.0	1	100.0	0	0.0	
	実績	0	0	-	0	-			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

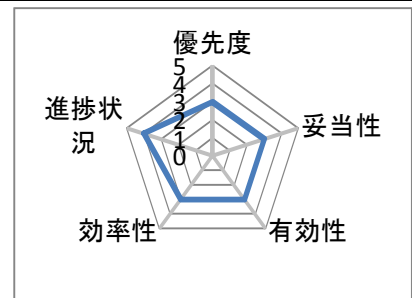
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	申請件数は予測以下であるが、制度の活用により水洗化が困難だった世帯へ早期の水洗化が可能となった。	3
	市民サービス	水洗化されることで周辺の住環境の改善や公共用水域の水質向上につながっている。	
効率性	執行体制の効率性	下水道接続により、周辺の住環境の改善による市民生活の向上や、使用料収入の確保による下水道経営の安定化など、多方面に良い効果を与えている	3
	執行体制の効率性	窓口で直接対面により本人確認の上受付処理をしており、公正さを確保している。また、口座振替による償還金の收受を行うことで効率性を向上させている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	水洗化普及が進んだことで件数は減少しているが、貸付による支援を受けて水洗化を行いたいという需要に応える事業方針はおおむね満たしている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	未収金が発生している



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	分割納付回数の柔軟な対応が必要である

配点	32.5
総合評価	20.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050102050100		事業の種類	9	
年度	27	事務事業名	農業集落排水管理事業		予算事業名	農業集落排水管理事業 優先度	
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課		
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	水原 至	担当者名	團 剛
取組み事項		農業集落排水等事業の健全経営と維持管理を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		土地改良法・相生市農業集落排水処理施設及び小規模集合排水施設の設置並びに管理に関する条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	参加市民					
	誰(何)を対象として	参加市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	農業集落排水処理施設等を適正に運営し、消費税申告を適正に行う。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		農業集落排水処理施設の総括管理事務及び公課費(消費税)に関する事務					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	施設総括事務	式	1	1	1	1	
	消費税	式	1	1	1	1	

3 投入資源

		会計区分	農集特別会計		事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.244	0.244	100	0.244	100	0.240	98	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,192,958	2,249,045	103	2,170,862	97	2,202,366	101	
	事業費	26,088,384	23,291,584	89	26,556,157	114	19,910,000	75	
	合計	28,281,342	25,540,629	90	28,727,019	112	22,112,366	77	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	26,088,384	5,413,452	21	3,811,000	70	90	0	
	一般財源	2,192,958	20,127,177	918	24,916,019	124	22,112,276	89	
合計	28,281,342	25,540,629	90	28,727,019	112	22,112,366	77		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度		
	関係(根拠)法令等から見た効果		
効率性	コストの節減		
	執行体制の効率性		
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

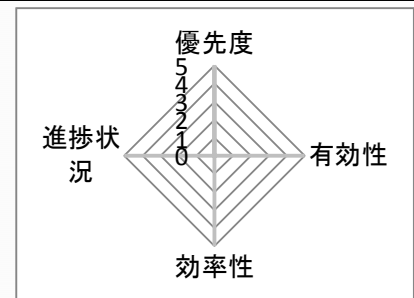
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容



配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050102050200		事業の種類	1				
年度	27	事務事業名	賦課徴収事業(農集)		予算事業名	賦課徴収事業		優先度	3	
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち			担当部局名	建設農林部建設管理課				
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る			担当課長	水原 至		担当者名	團 剛	
取組み事項		農業集落排水等事業の健全経営と維持管理を図る			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無	
実施計画事業名										
根拠法規及び関連法規		相生市農業集落排水処理施設及び小規模集合排水処理施設の設置並びに管理に関する条例								
事業の目的	誰のために(具体的に)	事業区域内の受益者								
	誰(何)を対象として	事業区域内の受益者								
	意図(どのような状態にしたいのか)	排水処理施設使用料の徴収及び新規加入金を100%徴収する。								

2 事業の概要 Do

実施の概要		排除汚水量を認定し、排水処理施設使用料を徴収する。 新規加入者に対して、加入金を徴収する。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	徴収事務	式	1	1	1	1	
	新規加入	件	2	2	1	3	

3 投入資源

		会計区分	農集特別会計		事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.160	0.172	108	0.172	100	0.168	98	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,547,250	1,691,189	109	1,632,158	97	1,636,590	100	
	事業費	3,305,106	3,410,548	103	3,432,212	101	3,471,000	101	
	合計	4,852,356	5,101,737	105	5,064,370	99	5,107,590	101	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	3,305,106	3,410,548	103	3,432,212	101	3,471,000	101	
	一般財源	1,547,250	1,691,189	109	1,632,158	97	1,636,590	100	
合計	4,852,356	5,101,737	105	5,064,370	99	5,107,590	101		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		排水処理施設使用料徴収件数							
指標説明(式)		徴収件数/徴収対象件数×100							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	98.27	98.48	100.2	98.48	100.0			
指標名2		排水処理施設使用料徴収金額							
指標説明(式)		徴収金額/徴収対象金額×100							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	98.89	99.06	100.2	99.10	100.0			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	使用料徴収について西播磨水道企業団に徴収事務委託をすることにより、徴収率の高率維持につながっている。	5
効率性	コストの節減	使用料徴収について西播磨水道企業団に徴収事務委託をすることにより、上水道使用料と一括徴収することができ、コストを節減している。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	徴収事業は目標に近い率を維持している。	4

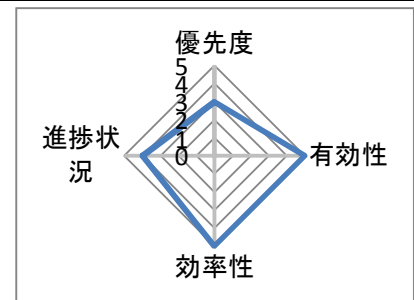
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	支払い能力の低い受益者への催告方法を検討する

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	分割納付回数について柔軟に対応する



配点	25
総合評価	20

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050102050300		事業の種類	1	
年度	27	事務事業名	排水設備管理事業(農集)		予算事業名		
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課		
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	水原 至	担当者名	團 剛
取組み事項		農業集落排水等事業の健全経営と維持管理を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		土地改良法・相生市農業集落排水処理施設及び小規模集合排水施設の設置並びに管理に関する条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	参加市民					
	誰(何)を対象として	排水設備指定工事店					
	意図(どのような状態にしたいのか)	確認審査及び検査を行うことにより、施工の均一性及び見積の適正化を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		下水道排水設備指定工事店の指定を行い、排水設備工事の適正な施工を確保するため、事務連絡会を開催し、排水設備等の設置申請を確認し、排水設備等工事の完了検査を行う。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	確認検査	件	4	5	15	20	

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.124	0.124	100	0.124	100	0.124	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,270,518	1,319,285	104	1,273,022	96	1,290,838	101	
	事業費			-		-		-	
	合計	1,270,518	1,319,285	104	1,273,022	96	1,290,838	101	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,270,518	1,319,285	104	1,273,022	96	1,290,838	101	
	合計	1,270,518	1,319,285	104	1,273,022	96	1,290,838	101	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		排水設備件数							
指標説明(式)		排水設備件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件	目標	20	20	100.0	20	100.0	20	100.0	
	実績	4	7	175.0	15	214.3	\	\	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		排水設備確認審査・検査コスト							
指標説明(式)		当該年度支出額／排水設備確認審査・検査件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-		-		-	
	実績	317629	188469	59.3	84868	45.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	排水設備工事の品質向上がみられた。	3
	関係(根拠)法令等から見た効果	概ね基準どおり施工されている。	
効率性	コストの節減	概ね現状維持。	3
	執行体制の効率性	概ね現状維持。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね順調に推移している。	4

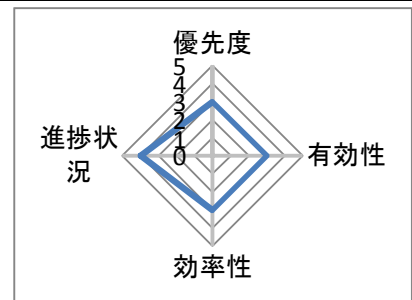
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	施工管理に向上の余地がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	確認申請時及び完了検査時に指導を徹底する



配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050102050400		事業の種類	2		
年度	27	事務事業名	農業集落排水施設維持管理事業		予算事業名	農業集落排水施設維持管理事業		
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課			
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	水原 至		担当者名	團 剛
取組み事項		農業集落排水等事業の健全経営と維持管理を図る		実施計画への記載	有		主要事業の指定	有
実施計画事業名		農業集落排水維持管理事業						
根拠法規及び関連法規		土地改良法・相生市農業集落排水処理施設及び小規模集合排水処理施設の設置並びに管理に関する条例						
事業の目的	誰のために(具体的に)	参加市民						
	誰(何)を対象として	参加市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	農業集落排水施設等を適正に維持管理運営し、公共用水域を保全する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		農業集落排水等処理施設の維持管理業務。濃縮汚泥の運搬。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	維持修繕工事	件	10	9	18	10	
	施設の維持管理委託	件	1	1	1	1	
	汚泥運搬業務	m ³	3439	3279	3420	3300	
	管渠等の清掃	m	2001	2411	1565	2000	

3 投入資源

		会計区分	農集特別会計		事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.224	0.236	105	0.236	100	0.228	97	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,039,218	2,187,061	107	2,111,006	97	2,108,070	100	
	事業費	70,144,232	71,088,577	101	70,977,299	100	73,495,000	104	
	合計	72,183,450	73,275,638	102	73,088,305	100	75,603,070	103	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	70,144,232	71,088,577	101	70,977,299	100	73,495,000	104	
	一般財源	2,039,218	2,187,061	107	2,111,006	97	2,108,070	100	
	合計	72,183,450	73,275,638	102	73,088,305	100	75,603,070	103	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		排出汚泥のリサイクル率							
指標説明(式)		リサイクル処理施設への搬出量/濃縮汚泥搬出量×100							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		汚泥排出量							
指標説明(式)		濃縮汚泥搬出量／処理水量×100							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	0.68	0.68	100.0	0.68	100.0	0.68	100.0	
	実績	0.76	0.76	100.0	0.80	105.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	濃縮汚泥は、下水管理センターで公共下水道の汚泥と混合し、脱水汚泥としてリサイクル施設へ搬出している。	4
効率性	手段の最適性	汚泥排出量を適正に行うことにより水質を維持している。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね順調に推移している。	4

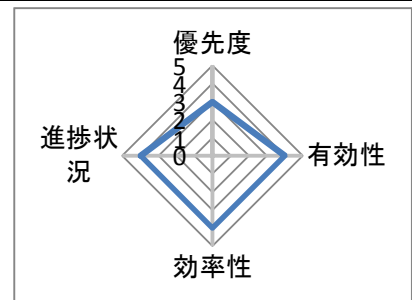
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	公共下水道との統合を推進する

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		050102050500		事業の種類		2	
年度	27	事務事業名	個別排水処理施設維持管理事業	予算事業名	個別排水処理施設維持管理事業	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課		
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	水原 至	担当者名	團 剛
取組み事項		農業集落排水等事業の健全経営と維持管理を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市戸別合併処理浄化槽の設置及び管理に関する条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	受益者					
	誰(何)を対象として	受益者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	戸別合併処理浄化槽を適正に管理し、公共用水域の水質を保全する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		浄化槽維持管理業者に清掃点検業務を委託する。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	浄化槽維持管理委託	基	14	15	15	16	

3 投入資源

会計区分		農集特別会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.080	0.100	125	0.100	100	0.100	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	932,290	1,133,333	122	1,093,454	96	1,102,246	101	
	事業費	783,510	868,500	111	852,000	98	959,000	113	
	合計	1,715,800	2,001,833	117	1,945,454	97	2,061,246	106	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	783,510	868,500	111	852,000	98	959,000	113	
	一般財源	932,290	1,133,333	122	1,093,454	96	1,102,246	101	
合計	1,715,800	2,001,833	117	1,945,454	97	2,061,246	106		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		水質基準							
指標説明(式)		浄化槽水質基準適合数/浄化槽数×100							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	全ての浄化槽において、水質基準が満たされていた。	3
効率性	手段の最適性	専門的資格のある浄化槽維持管理業者により適正に清掃点検がされている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね予定通り。	4

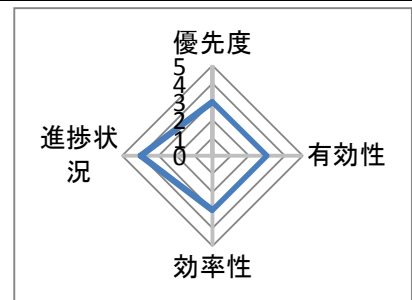
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容



配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		050102050600		事業の種類		4	
年度	27	事務事業名	水洗化促進事業(農集)	予算事業名	水洗化促進事業	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課		
施策名(中)		上・下水道の整備、維持を図る		担当課長	水原 至	担当者名	團 剛
取組み事項		農業集落排水等事業の健全経営と維持管理を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市水洗便所等改造資金貸付条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	参加市民					
	誰(何)を対象として	参加市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	環境衛生の向上を図るため、くみ取り便所の水洗化及び排水設備の設置を促進する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		借入の申請を受理して、貸付の可否及び貸付額を決定し、市町の工事検査に合格した後に貸付金を交付する。後、借受人から、償還期限までに元金及び利子を市に償還させる。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	改造資金貸付	件	0	1	0	1	

3 投入資源

会計区分		農集特別会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.108	0.108	100	0.108	100	0.104	96	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,147,526	1,195,317	104	1,153,310	96	1,133,678	98	
	事業費	0	700,032	-	64	0	701,000	1,095,313	
	合計	1,147,526	1,895,349	165	1,153,374	61	1,834,678	159	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他		88,196	-	0	0	370,000	-	
	一般財源	1,147,526	1,807,153	157	1,153,374	64	1,464,678	127	
合計	1,147,526	1,895,349	165	1,153,374	61	1,834,678	159		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		貸付件数							
指標説明(式)		貸付件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	0	1	-	0	0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

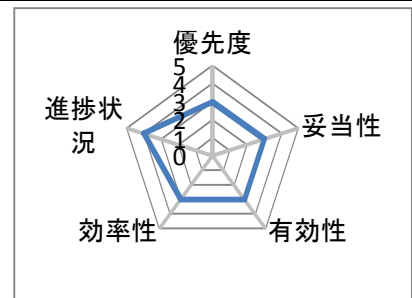
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	水洗化普及がすすんだことで件数は減少傾向にあり、本年度は申請がないが、資金的な負担を軽減して水洗化を促進する成果はあげている。	3
	市民サービス	水洗化されることで周辺の住環境の改善や公共水域の水質向上につながっている。	
効率性	手段の最適性	農業集落排水等への接続により、周辺の住環境の改善による市民生活の向上や、使用料収入の確保による特別会計経営の安定化など、多方面に良い効果を与えている。	3
	執行体制の効率性	窓口で直接対面により本人確認の上受付処理をしており、公正さを確保している。また、口座振替による償還金の收受を行うことで、効率性を向上させている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	水洗化普及がすすんだことで件数は減少しているが、貸付による支援を受けて水洗化を行いたいという需要に応える事業方針はおおむね満たしている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	未収金が発生している



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	分割納付回数等の柔軟な対応が必要である

配点	32.5
総合評価	20.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050103010100		事業の種類	2		
年度	27	事務事業名	港湾管理事業		予算事業名	港湾管理事業		
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課			
施策名(中)		港湾の有効活用と河川環境を保全する		担当課長	齊藤 誠		担当者名	船曳 直志
取組み事項		港湾を整備し、有効活用を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		港湾法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	港湾樋門の管理						
	意図(どのような状態にしたいのか)	港湾樋門の機能保全を図り、水害防止を図ることにより、市民が安全に暮らせるまちにする。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		報奨金を交付して相生市消防団に樋門点検を行ってもらう。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	点検件数	件	24	24	24	24	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.084	0.084	100	0.168	200	0.084	50	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	963,038	1,009,365	105	1,602,230	159	976,518	61	
	事業費	771,210	765,200	99	797,600	104	840,000	105	
	合計	1,734,248	1,774,565	102	2,399,830	135	1,816,518	76	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,734,248	1,774,565	102	2,399,830	135	1,816,518	76	
合計	1,734,248	1,774,565	102	2,399,830	135	1,816,518	76		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		樋門点検件数の増減							
指標説明(式)		樋門点検件数の増減							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件	目標	25	24	96.0	24	100.0	24	100.0	
	実績	24	24	100.0	24	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		仕事作業能率の増減（数値が高いほど作業能率は高い）							
指標説明(式)		点検件数／(1,938時間×参事以下職員の人員資源)							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件	目標	1	0.5	50.0	0.5	100.0	0.5	100.0	
	実績	0.15	0.15	100.0	0.07	46.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	樋門の点検件数は気象条件に左右されるため毎年異なり、単純には比較できないが、定期的な点検の実施は市民生活の安全を図る上で有効である。	4
	組織運営・適正管理	当該事務は河川管理・港湾管理と密接に関連する事務であるため、河川管理・港湾管理の事務事業の担当課(係)がこの事務を担当するのは、迅速かつ適切な事務処理を図る上で有効である。	
効率性	コストの節減	仕事作業能率は年度毎にバラつきはあるが、全体的には横ばい傾向にある。	4
	執行体制の効率性	河川管理・港湾管理の担当課が担当することで、意思疎通の混乱によるトラブル発生を防止でき、効率的な事務処理が図られている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり進捗している。	4

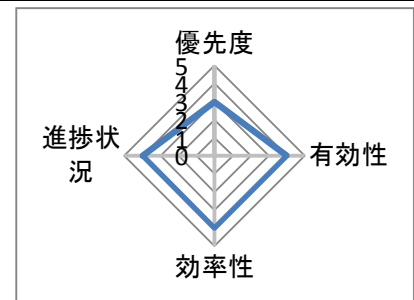
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	効率的な施設管理を図り、コスト削減に努める。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	効率的な施設管理を図り、コスト削減に努める。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		050103010200		事業の種類		2	
年度	27	事務事業名	ポンプ場管理事業(港湾)	予算事業名	ポンプ場管理事業	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課		
施策名(中)		港湾の有効活用と河川環境を保全する		担当課長	齊藤 誠	担当者名	船曳 直志
取組み事項		港湾を整備し、有効活用を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		港湾法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	旭ポンプ場の管理					
	意図(どのような状態にしたいのか)	排水用ポンプの機能保全を図り、水害防止を図ることにより、市民が安全に暮らせるまちにする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		県との協定に基づいて、旭排水ポンプ場の施設管理を行う。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	操作件数	件	94	86	29	50	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.198	0.198	100	0.298	151	0.198	66	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,839,356	1,892,637	103	2,574,890	136	1,872,330	73	
	事業費	1,403,515	1,488,941	106	1,434,259	96	1,779,000	124	
	合計	3,242,871	3,381,578	104	4,009,149	119	3,651,330	91	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,242,871	3,381,578	104	4,009,149	119	3,651,330	91	
合計	3,242,871	3,381,578	104	4,009,149	119	3,651,330	91		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ポンプ操作件数の増減							
指標説明(式)		ポンプ操作件数の増減							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件	目標	100	100	100.0	100	100.0	50	50.0	
	実績	94	86	91.5	29	33.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		仕事作業能率の増減（数値が高いほど作業能率は高い）							
指標説明(式)		操作件数／(1,938時間×参事以下職員の人員資源)							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件	目標	0.5	0.26	52.0	0.26	100.0		0.0	
	実績	0.25	0.22	88.0		0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	ポンプの操作件数は気象条件に左右されるため毎年異なり、単純には比較できないが、必要な排水操作とそれを可能にする日頃の点検は、市民生活の安全を図る上で有効である。	4
	組織運営・適正管理	当該事務は河川管理・港湾管理と密接に関連する事務であるため、河川管理・港湾管理の事務事業の担当課(係)がこの事務を担当するのは、迅速かつ適切な事務処理を図る上で有効である。	
効率性	コストの節減	防災施設のため、コスト削減は不可能。	3
	執行体制の効率性	河川管理・港湾管理の担当課が担当することで、意思疎通の混乱によるトラブル発生を防止でき、効率的な事務処理が図られている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり進捗している。	4

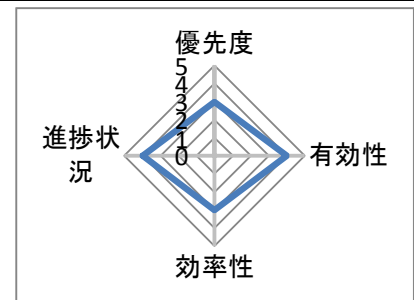
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	効率的な施設管理を図り、コスト削減に努める。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	効率的な施設管理を図り、コスト削減に努める。



配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050103010300	事業の種類	2
年度	27	事務事業名	海岸美化対策事業	予算事業名	海岸美化対策事業
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課
施策名(中)		港湾の有効活用と河川環境を保全する		担当課長	齊藤 誠
取組み事項		港湾を整備し、有効活用を図る		担当者名	船曳 直志
実施計画事業名		海岸美化対策事業		実施計画への記載	無
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民			
	誰(何)を対象として	相生湾の一斉清掃 (相生湾に浮遊または海岸に放置されたゴミの除去)			
	意図(どのような状態にしたいのか)	海岸の環境保全とゴミのポイ捨て防止の啓発を図り、もって、市民が快適に暮らせる街づくりを図る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		市・市民ボランティア・関西電力・IHI・漁協等と組み、一斉に相生湾の清掃活動(リフレッシュ瀬戸内)を行う。				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	活動回数	回	1	1	1	1
	回収ゴミ(可燃)	kg	2010	2030	1970	1000
	回収ゴミ(不燃)	kg	1030	1000	240	1000
	回収ゴミ(汚泥)	kg				1000

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.080	0.080	100	0.080	100	0.080	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	932,290	978,373	105	943,814	96	945,086	100	
	事業費	1,734,965	1,737,072	100	2,186,640	126	2,217,000	101	
	合計	2,667,255	2,715,445	102	3,130,454	115	3,162,086	101	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,667,255	2,715,445	102	3,130,454	115	3,162,086	101	
合計	2,667,255	2,715,445	102	3,130,454	115	3,162,086	101		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		事業参加者数							
指標説明(式)		事業参加者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	450	450	100.0	450	100.0	450	100.0	
	実績	450	450	100.0	400	88.9			
指標名2		一人あたりのゴミ回収量							
指標説明(式)		(可燃ゴミ+不燃ゴミ+汚泥) / 参加者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
kg	目標	10	10	100.0	10	100.0	6.7	67.0	
	実績		6.7	-	5.5	82.1			

【効率性】

指標名1		活動事業費の増減							
指標説明(式)		活動事業費の増減							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	102000	108000	105.9	117000	108.3		0.0	
	実績	99250	102632	103.4		0.0			
指標名2		ゴミ1kgあたりの回収コスト							
指標説明(式)		支出合計額/(可燃ゴミ+不燃ゴミ+汚泥)							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	年1回の実施ではあるが、毎年約4tものゴミを収集し分別しており、相生湾の環境保全に有効に寄与している。	4
	組織運営・適正管理	市単独ではなく、相生湾沿岸の企業や漁協、市民ボランティアの協力を得ることで、海岸美化の啓発に有効に寄与する。	
効率性	コストの節減	“ゴミ1kgあたりの回収コスト”は減じている。	3
	執行体制の効率性	現在、年1回の取り組みであるため、建設農林部が総じて中心的役割をはたしている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり進捗している。	4

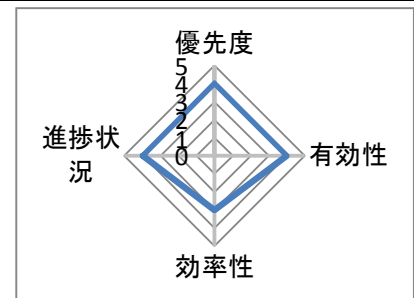
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	市民ボランティアの参加人数の増加を図る。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	「リフレッシュ瀬戸内」参加者の拡大を図り、相生湾の環境美化の促進を図る。



配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050103010500		事業の種類	6		
年度	27	事務事業名	港湾整備事業(県事業)		予算事業名	港湾整備事業(県事業) 優先度		
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課			
施策名(中)		港湾の有効活用と河川環境を保全する		担当課長	齊藤 誠		担当者名	船曳 直志
取組み事項		港湾を整備し、有効活用を図る		実施計画への記載	有		主要事業の指定	
実施計画事業名		港湾施設改良事業						
根拠法規及び関連法規		港湾法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	鰯浜地区住民						
	誰(何)を対象として	相生港鰯浜地区						
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生港の多彩な空間を利用						

2 事業の概要 Do

実施の概要		埋立工 V=130,000m ³ 地盤改良 A=3,500m ³					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	工事内容		臨交道路L=29m	臨交道路L=227m			

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.237	0.237	100	0.352	149	0.157	45	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,139,149	2,194,809	103	2,978,918	136	1,550,152	52	
	事業費	450,000	1,350,000	300	450,000	33		0	
	合計	2,589,149	3,544,809	137	3,428,918	97	1,550,152	45	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,589,149	3,544,809	137	3,428,918	97	1,550,152	45	
合計	2,589,149	3,544,809	137	3,428,918	97	1,550,152	45		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性		県事業推進に際して詳細な部分で市民ニーズとの調整を図っている。	4
効率性		事業費の二重投資等が防止出来ている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり進捗している。	4

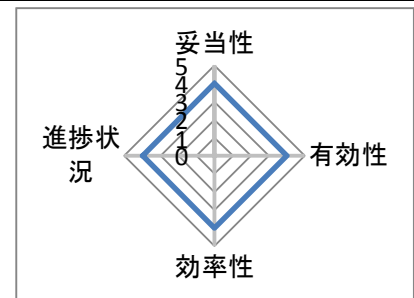
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容



配点	32.5
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050103020100		事業の種類	6	
年度	27	事務事業名	市内一円河川等改修事業		予算事業名	河川等改修事業	
まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課			
施策名(中)	港湾の有効活用と河川環境を保全する		担当課長	齊藤 誠		担当者名	船曳 直志
取組み事項	河川を整備する		実施計画への記載	有		主要事業の指定	無
実施計画事業名	河川整備事業						
根拠法規及び関連法規	河川法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市が管理する河川					
	意図(どのような状態にしたいのか)	地位住民を水害から守り、安全で心地よい生活ができる					

2 事業の概要 Do

実施の概要		未整備及び老朽箇所の整備計画を立て整備すること。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	準用河川改修工事	m	43	0	0	0	
	普通河川改修工事	m	110	238	126	180	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.194	0.194	100	0.080	41	0.080	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,808,608	1,861,645	103	943,814	51	945,086	100	
	事業費	14,954,450	11,199,680	75	12,296,960	110	15,350,000	125	
	合計	16,763,058	13,061,325	78	13,240,774	101	16,295,086	123	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	16,763,058	13,061,325	78	13,240,774	101	16,295,086	123	
合計	16,763,058	13,061,325	78	13,240,774	101	16,295,086	123		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		工事の実施率							
指標説明(式)		工事実施件数 ÷ 工事計画件数 × 100							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	50	50.0	100	200.0	-	-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

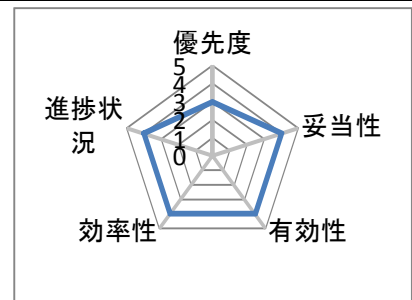
指標名1		年度内予算執行率							
指標説明(式)		年度内執行額 ÷ 年度内予算額 × 100							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	72.3	72.3	79.6	110.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	防災に配慮した魅力ある河川の整備を図っている。	4
効率性	コストの節減	競争入札を導入し、業者間の競争意識を高めコスト縮減を図っている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	コスト縮減により、コストパフォーマンスを高める工法を検討する。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	コストを抑えて、安全快適な河川環境を構築する。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050103020200		事業の種類	2		
年度	27	事務事業名	河川管理事業		予算事業名	河川管理事業		
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課			
施策名(中)		港湾の有効活用と河川環境を保全する		担当課長	齊藤 誠		担当者名	船曳 直志
取組み事項		河川を整備する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名		河川環境美化整備						
根拠法規及び関連法規		河川法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	河川樋門の管理						
	意図(どのような状態にしたいのか)	河川樋門の機能保全を図り、水害防止を図ることにより、市民が安全に暮らせるまちにする。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		報奨金を交付して相生市消防団に樋門点検を行ってもらう。						
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画		
	点検件数	件	37	37	37	37		
	報償金の額	円	111000	111000	111000	111000		

3 投入資源

会計区分		一般会計							事業費単位:円
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.098	0.098	100	0.052	53	0.052	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,070,656	1,117,837	104	734,318	66	725,062	99	
	事業費	15,050,400	17,108,040	114	23,079,360	135	23,217,000	101	
	合計	16,121,056	18,225,877	113	23,813,678	131	23,942,062	101	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	16,121,056	18,225,877	113	23,813,678	131	23,942,062	101	
合計	16,121,056	18,225,877	113	23,813,678	131	23,942,062	101		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		樋門点検件数の増減							
指標説明(式)		樋門点検件数の増減							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件	目標	37	37	100.0	37	100.0	37	100.0	
	実績	37	37	100.0	37	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		仕事作業能率の増減（数値が高いほど作業能率は高い）							
指標説明(式)		点検件数／(1,938時間×主幹以下職員の人員資源)							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件	目標	0.7	0.5	71.4	0.7	140.0	0.7	100.0	
	実績	0.19	0.215	113.2	0.367	170.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	樋門の点検件数は気象条件に左右されるため毎年異なり、単純には比較できないが、定期的な点検の実施は市民生活の安全を図る上で有効である。	4
	組織運営・適正管理	当該事務は河川管理・港湾管理と密接に関連する事務であるため、河川管理・港湾管理の事務事業の担当課(係)がこの事務を担当するのは、迅速かつ適切な事務処理を図る上で有効である。	
効率性	コストの節減	仕事作業能率は年度毎にバラつきはあるが、全体的には横ばい傾向にある。	3
	執行体制の効率性	河川管理・港湾管理の担当課が担当することで、意思疎通の混乱によるトラブル発生を防止でき、効率的な事務処理が図られている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗している	4

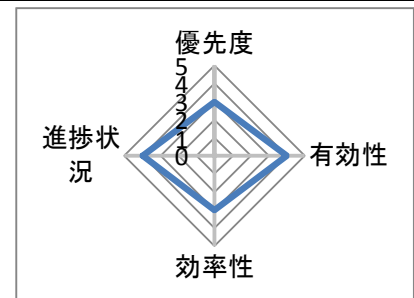
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	効率的な施設管理を図り、コスト縮減に努める。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	効率的な施設管理を図り、コスト縮減に努める。



配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050103020300		事業の種類	5	
年度	27	事務事業名	河川愛護事業		予算事業名	河川愛護事業	
まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課			
施策名(中)	港湾の有効活用と河川環境を保全する		担当課長	齊藤 誠		担当者名	船曳 直志
取組み事項	河川を整備する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		なし					
事業の目的	誰のために(具体的に)	河川底の土砂水草除去や護岸の草刈やしゅんせつ等を実施した自治会					
	誰(何)を対象として	河川愛護事業報奨金の支出					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民に河川の清掃活動に参加してもらうことで、河川を大切にしようとする心を育み、直接的・間接的に河川美化を促すとともに、自治会活動を強化し地域住民の連携を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		河川愛護事業を実施した自治会に対し、参加人数・実施時間・作業距離に応じて報奨金を支出する。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	実施した自治会数	件	17	17	19		
	報償金の額	円	359200	359960	358700		

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.180	0.180	100	0.240	133	0.180	75	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,700,990	1,753,173	103	2,140,934	122	1,730,886	81	
	事業費	359,200	359,960	100	358,700	100	360,000	100	
	合計	2,060,190	2,113,133	103	2,499,634	118	2,090,886	84	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,060,190	2,113,133	103	2,499,634	118	2,090,886	84	
合計	2,060,190	2,113,133	103	2,499,634	118	2,090,886	84		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		実施した自治会数の増減							
指標説明(式)		実施した自治会数の増減							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件	目標	16	17	106.3	17	100.0	19	111.8	
	実績	17	17	100.0	19	111.8			
指標名2		報奨金の額の増減							
指標説明(式)		報奨金の額の増減							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	360000	360000	100.0	360000	100.0	360000	100.0	
	実績	359200	359960	100.2	358700	99.6			

【効率性】

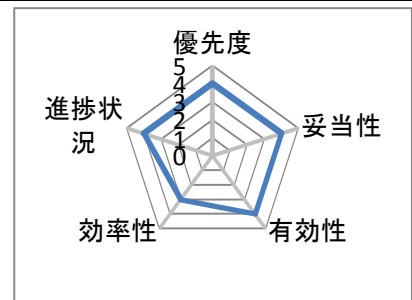
指標名1		1件あたりの報償金の額							
指標説明(式)		報奨金の額／実施した自治会数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
金	目標	22500	21176	94.1	21000	99.2	18947	90.2	
	実績	21129	21174	100.2	18879	89.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	実施自治会がおおよそ限られており、河川流域にありながら実施していない自治会もある。	4
	上位施策への貢献度	住民自ら清掃に携わることで、単に河川の美化清掃の実施に止まらず、ゴミのポイ捨て等を防止させる効果が期待できる。また自治会活動の強化による住民間の連携強化も期待できる。	
効率性	コストの節減	1件あたりの報償金の額は、やや減少傾向にある。	3
	手段の最適性	実施回数は各自治会とも年1回程度と、実施頻度が低い。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗している	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	実施自治会が概ね限られており、河川流域の全体的な実施には至っていない。また、実施回数も各自治会年1回程度でしかない。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	実施自治会並びに実施回数の増加。

配点	32.5
総合評価	25

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050103020400		事業の種類	3		
年度	27	事務事業名	ポンプ場管理事業(河川)		予算事業名	ポンプ場管理事業	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課			
施策名(中)		港湾の有効活用と河川環境を保全する		担当課長	齊藤 誠	担当者名	船曳 直志	
取組み事項		河川を整備する		実施計画への記載		主要事業の指定		
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		河川法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	大谷川排水機場の管理						
	意図(どのような状態にしたいのか)	排水用ポンプの機能保全を図り、水害防止を図ることにより、市民が安全に暮らせるまちにする。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		県との協定に基づいて、大谷川排水機場の施設管理を行う。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	操作件数	件	0	1	0	0	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.172	0.172	100	0.246	143	0.172	70	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,639,494	1,691,189	103	2,185,826	129	1,668,022	76	
	事業費	3,102,229	3,385,278	109	3,507,071	104	3,949,000	113	
	合計	4,741,723	5,076,467	107	5,692,897	112	5,617,022	99	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	4,741,723	5,076,467	107	5,692,897	112	5,617,022	99	
合計	4,741,723	5,076,467	107	5,692,897	112	5,617,022	99		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ポンプ操作件数の増減							
指標説明(式)		ポンプ操作件数の増減							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	1	-	0	0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

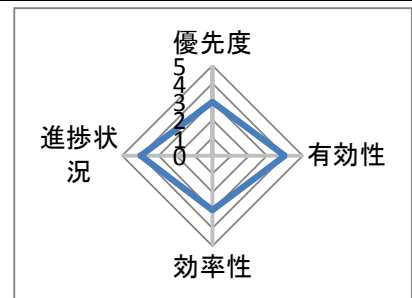
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	ポンプの操作件数は気象条件に左右されるため毎年異なり、単純には比較できないが、必要な排水操作とそれを可能にする日頃の点検は、市民生活の安全を図る上で有効である。	4
	組織運営・適正管理	当該事務は河川管理・港湾管理と密接に関連する事務であるため、河川管理の事務事業の担当課(係)がこの事務を担当するのは、迅速かつ適切な事務処理を図る上で有効である。	
効率性	コストの節減	防災施設のため、コスト削減は不可能。	3
	執行体制の効率性	河川管理・港湾管理の担当課が担当することで、意思疎通の混乱によるトラブル発生を防止でき、効率的な事務処理が図られている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	効率的な施設管理を図り、コスト削減に努める。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	効率的な施設管理を図り、コスト削減に努める。

配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050104010100		事業の種類	1		
年度	27	事務事業名	景観形成事業		予算事業名			
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課			
施策名(中)		相生の特性を活かす景観と緑化を推進する		担当課長	斎藤 誠		担当者名	古川・萩原
取組み事項		特性を活かす景観をつくる		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	建築物、構造物等						
	意図(どのような状態にしたいのか)	景観に対する意識の向上を促し良好な景観形成を行う。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		優れた景観を創造し、又は保全するため県の「景観の形成等に関する条例」に基づく景観誘導。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.136	0.136	100	0.276	203	0.192	70	
	臨時職員			-		-	0.100	-	
支出内訳	人件費	1,362,762	1,412,261	104	2,410,286	171	2,095,782	87	
	事業費			-		-		-	
	合計	1,362,762	1,412,261	104	2,410,286	171	2,095,782	87	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,362,762	1,412,261	104	2,410,286	171	2,095,782	87	
	合計	1,362,762	1,412,261	104	2,410,286	171	2,095,782	87	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		有効性を測る指標はない							
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	景観行政そのものが緩やかな行政指導であり、短時間で目に見える効果が上がりにくい。	3
効率性	コストの節減	普及啓発活動として県が作成したパンフレット等の配布	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

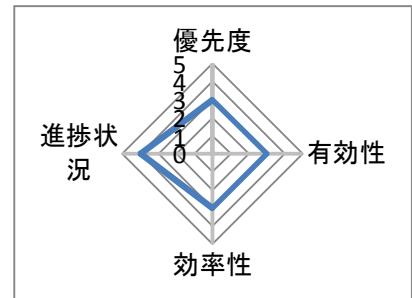
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	県の景観条例により大規模建築物等については、審査されているが、対象建築物が少ない。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	景観行政に関する普及・啓発の方法を検討する。



配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		050104020100		事業の種類		2	
年度	27	事務事業名	公園施設維持管理事業	予算事業名	公園施設維持管理事業	優先度	3
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部都市整備課		
施策名(中)		相生の特性を活かす景観と緑化を推進する		担当課長	齊藤 誠	担当者名	船曳 直志
取組み事項		公園、緑地を整備する		実施計画への記載	主要事業の指定		
実施計画事業名		都市公園整備事業 中央公園テニスコート芝張替修繕		都市公園維持修繕事業			
根拠法規及び関連法規		公園法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	公園の委託による維持管理					
	意図(どのような状態にしたいのか)	都市公園等の健全な発達を図り、公共の福祉に資する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		公園の維持管理を委託することで、公園の整備充実を図っていく。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	公園の管理箇所数	箇所	33	36	41	42	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.336	0.336	100	0.220	65	0.170	77	
	臨時職員	0.300	0.300	100	0.300	100	0.300	100	
支出内訳	人件費	3,632,462	3,690,861	102	2,746,994	74	2,464,106	90	
	事業費	31,468,419	36,186,524	115	77,514,594	214	59,131,000	76	
	合計	35,100,881	39,877,385	114	80,261,588	201	61,595,106	77	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	35,100,881	39,877,385	114	80,261,588	201	61,595,106	77	
合計	35,100,881	39,877,385	114	80,261,588	201	61,595,106	77		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		公園1箇所あたりの維持管理コスト							
指標説明(式)		維持管理費/管理公園数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標	1000000	1090470	109.0	2512833	230.4	1407880	56.0	
	実績	953588	1005181	105.4	1890649	188.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	住民が気持ちよく施設を利用できるように清潔に維持されます。	4
	期待する目標	災害時の避難地にも指定されていることから、日頃の維持管理が必要。	
効率性	コストの節減	みんなで地域を守るという観点からも、地域住民への協力による維持管理の必要性があると思われる。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり事業が進捗している。	4

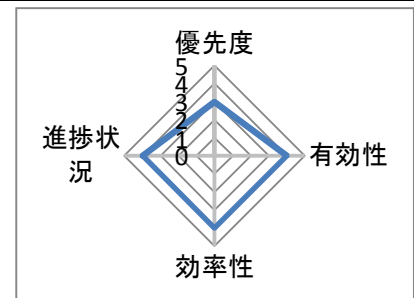
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	地元自治会等の取り組みに特徴がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	地元自治会等と連携を強化する。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050104030100		事業の種類	4	
年度	27	事務事業名	緑化推進事業		予算事業名	緑化推進事業	
まちづくり目標	自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	市民生活部地域振興課			
施策名(中)	相生の特性を活かす景観と緑化を推進する		担当課長	松本 秀文		担当者名	破魔 和直
取組み事項	緑化を推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民にうるおいとやすらぎを与える、みどり豊かなまちづくりを進めるため、市民の緑化に対する関心を高め緑化普及、啓発を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市花と緑の協会に委託し、市内のフラワーポット、花壇の維持管理、栽培用の苗木の配布を行う。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	講習会開催回数	回	3	3	3	3	
	市内花苗植栽数	株	5518	5498	4940	4800	
	まちなみガーデン庭	個所	49	54	51	50	
	つばき園の清掃回数	回	4	5	5	5	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.360	0.340	94	0.420	124	0.280	67	
	臨時職員	0.072	0.075	104	0.516	688	0.352	68	
支出内訳	人件費	3,260,402	3,175,103	97	4,787,498	151	3,469,198	72	
	事業費	1,460,680	1,458,580	100	1,294,580	89	1,300,000	100	
	合計	4,721,082	4,633,683	98	6,082,078	131	4,769,198	78	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	4,721,082	4,633,683	98	6,082,078	131	4,769,198	78	
	合計	4,721,082	4,633,683	98	6,082,078	131	4,769,198	78	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ガーデニング講習会開催回数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標	3	3	100.0	3	100.0	3	100.0	
	実績	3	3	100.0	3	100.0			
指標名2		市内プランター・花壇に植栽した花苗数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標	5600	5500	98.2	5500	100.0	4800	87.3	
	実績	5518	5498	99.6	4940	89.9			

【効率性】

指標名1		事業費に係る花苗購入費の割合							
指標説明(式)		花苗購入費÷事業費							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	27	27	100.0	25	92.6	25	100.0	
	実績	26	24	92.3	29	120.8			
指標名2		まちなみガーデンの開催にかかる参加者1人あたりの経費							
指標説明(式)		まちなみガーデンの開催費/参加数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標	3500	4000	114.3	6000	150.0	4753	79.2	
	実績	4131	4286	103.8	6151	143.5			

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	市民団体の花と緑の協会に委託し、継続的に植栽管理を行っている。また、目標の1つの若年世代を対象としたガーデニング講習を開催し、多くの小学生の参加を得た。	4
	市民サービス	多くの種類の花苗の配布や市民ニーズの高い講習会の開催が不可欠である。	
効率性	執行体制の効率性	花と緑の協会会員が管理する花壇、プランターの一部に、高齢化により植栽管理が困難な場所が発生してきている。	3
	手段の最適性	これまで主に花と緑の協会だけに委託してきたが、より柔軟な事業体制を検討する時期に来ている。(県のアドプト制度はある)	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	まちなみガーデンの個人宅庭の参加数が減少している。庭主の数を増やすとともに質の向上についても考える必要がある。	3

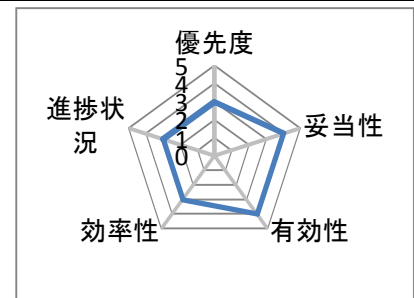
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	委託先の花と緑の協会が管理するプランター、花壇管理等の植栽管理の手法の見直し。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	花と緑の協会の会員の高齢化と人数が減少している。維持継続していく手法の検討が必要。



配点	32.5
総合評価	22

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050105010100		事業の種類	9	
年度	27	事務事業名	公債費元金償還事業		予算事業名	公債費元金償還事業	優先度
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課		
施策名(中)		その他		担当課長	水原 至	担当者名	團 剛
取組み事項		その他		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		下水道法・地方財政法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	公共下水道を利用する市民					
	誰(何)を対象として	公共下水道を利用する市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	短期に多額の建設費用を必要とするが、施設は長期にわたり使用できることから、世代間の負担の公平性を保つ					

2 事業の概要 Do

実施の概要		公共下水道の建設財源として借り入れた下水道事業債の元金を償還する。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	下水道事業債元金償還(公共分)	円	1389353701	1433429077	1460391595	1465640000	

3 投入資源

会計区分 公共下水特別会計

事業費単位:円

インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.136	0.136	100	0.136	100	0.120	88	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,362,762	1,412,261	104	1,362,806	96	1,259,406	92	
	事業費	1,389,353,701	1,433,429,077	103	1,460,391,595	102	1,465,640,000	100	
	合計	1,390,716,463	1,434,841,338	103	1,461,754,401	102	1,466,899,406	100	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債	670,900,000	680,000,000	101	670,800,000	99	635,600,000	95	
	その他	109,228,884	108,626,000	99	106,222,000	98	102,936,000	97	
	一般財源	610,587,579	646,215,338	106	684,732,401	106	728,363,406	106	
合計	1,390,716,463	1,434,841,338	103	1,461,754,401	102	1,466,899,406	100		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

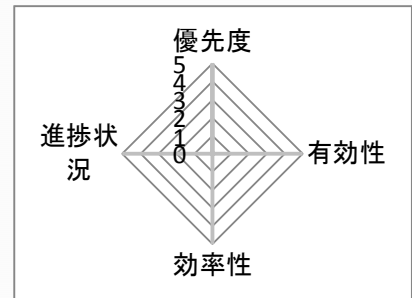
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容



配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050105010200		事業の種類	9	
年度	27	事務事業名	公債費利子償還事業		予算事業名	公債費利子償還事業 優先度	
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課		
施策名(中)		その他		担当課長	水原 至		担当者名 團 剛
取組み事項		その他		実施計画への記載	無		主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		下水道法・地方財政法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	公共下水道を利用する市民					
	誰(何)を対象として	公共下水道を利用する市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	短期に多額の建設費用を必要とするが、施設は長期にわたり使用できることから、世代間の負担の公平性を保つ					

2 事業の概要 Do

実施の概要		公共下水道の建設財源として借り入れた下水道事業債の利子を償還する。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	下水道事業債利子償還(公共分)	円	446808061	414634159	379523445	355704000	

3 投入資源

会計区分 公共下水特別会計

事業費単位:円

インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.136	0.136	100	0.136	100	0.120	88	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,362,762	1,412,261	104	1,362,806	96	1,259,406	92	
	事業費	446,808,061	414,634,159	93	379,523,445	92	355,704,000	94	
	合計	448,170,823	416,046,420	93	380,886,251	92	356,963,406	94	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	448,170,823	416,046,420	93	380,886,251	92	356,963,406	94	
合計	448,170,823	416,046,420	93	380,886,251	92	356,963,406	94		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

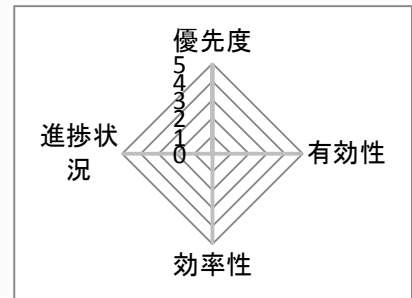
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容



配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050105010300		事業の種類	9	
年度	27	事務事業名	公債費元金償還事業		予算事業名	公債費元金償還事業 優先度	
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課		
施策名(中)		その他		担当課長	水原 至		担当者名 團 剛
取組み事項		その他		実施計画への記載	無		主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		地方財政法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	農業集落排水等を利用する市民					
	誰(何)を対象として	農業集落排水等を利用する市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	短期に多額の建設費用を必要とするが、施設は長期にわたり使用できることから、世代間の負担の公平性を保つ					

2 事業の概要 Do

実施の概要		農業集落排水等の建設財源として借り入れた下水道事業債の元金を償還する。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	下水道事業債元金償還(農集分)	円	208956196	212789708	217665862	22265000	

3 投入資源

		会計区分	農集特別会計		事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.088	0.088	100	0.088	100	0.080	91	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	993,786	1,040,357	105	1,003,670	96	945,086	94	
	事業費	208,956,196	212,789,708	102	217,665,862	102	222,665,000	102	
	合計	209,949,982	213,830,065	102	218,669,532	102	223,610,086	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-	102,900,000	-	107,400,000	104	
	その他			-		-		-	
	一般財源	209,949,982	213,830,065	102	115,769,532	54	116,210,086	100	
合計	209,949,982	213,830,065	102	218,669,532	102	223,610,086	102		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

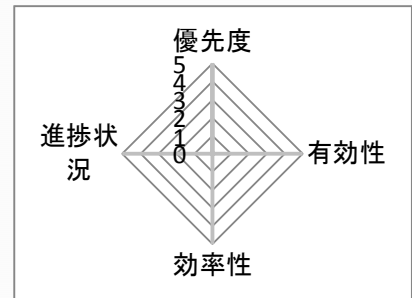
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容



配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050105010400		事業の種類	9	
年度	27	事務事業名	公債費利子償還事業		予算事業名	公債費利子償還事業 優先度	
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設農林部建設管理課		
施策名(中)		その他		担当課長	水原 至		担当者名 團 剛
取組み事項		その他		実施計画への記載	無		主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		地方財政法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	農業集落排水等を利用する市民					
	誰(何)を対象として	農業集落排水等を利用する市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	短期に多額の建設費用を必要とするが、施設は長期にわたり使用できることから、世代間の負担の公平性を保つ					

2 事業の概要 Do

実施の概要		農業集落排水等の建設財源として借り入れた下水道事業債の利子を償還する					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	下水道事業債利子償還(農集分)	円	83668618	79163679	74470306	7172000	

3 投入資源

会計区分

農集特別会計

事業費単位:円

インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.084	0.084	100	0.084	100	0.080	95	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	963,038	1,009,365	105	973,742	96	945,086	97	
	事業費	83,668,618	79,163,679	95	74,470,306	94	71,772,000	96	
	合計	84,631,656	80,173,044	95	75,444,048	94	72,717,086	96	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	84,631,656	80,173,044	95	75,444,048	94	72,717,086	96	
合計	84,631,656	80,173,044	95	75,444,048	94	72,717,086	96		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

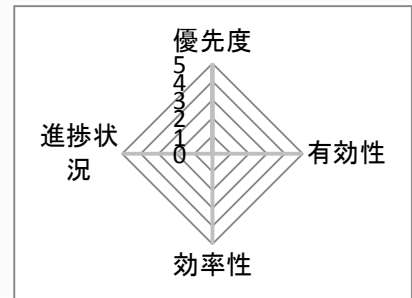
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容



配点	32.5
総合評価	0